

丹後町

中学生以上全員 まちづくりアンケート調査

結果報告



丹後町中学生以上全員 まちづくりアンケート調査結果報告

目次

1	はじめに.....	1
2	アンケート回収状況.....	2
3	丹後町の現状.....	3
	丹後町の人口減少と少子高齢化	3
	丹後町の年代構成（人口ピラミッド）	3
	これからの丹後町の人口の推移（予想）	3
	地区等における高齢化率と年少人口率.....	4
4	アンケート結果.....	6
	(1) 丹後町に住み続けますか？.....	6
	(2) 各世代が思う丹後町に快適に住み続けるにはどうしたらいいのか？	7
	(3) 丹後町のいいところ（複数回答）	8
	(4) 丹後町で不安に感じていること、困っていること（複数回答）	8
	(5) 地域活動について	9
	(5)－1 地域活動の重要度.....	10
	(5)－2 地域活動の満足度.....	10
	(5)－3 地域活動の足りない度合い（不足度）	11
	(5)－4 最も優先して取り組む活動.....	13
	(6) 生活基盤施設（インフラ）について	14
	(6)－1 インフラの重要度.....	15
	(6)－2 インフラの満足度.....	15
	(6)－3 インフラの足りない度合（不足度）	16
	(7) 移動について.....	17
	(8) 活動の頻度について（複数回答）.....	18
	(9) 経済活動について（複数回答）.....	19
	(10) 自治・地域活動について	21
	(11) これから行なってみたい地域活動、協力できる活動	22
	(12) その他・暮らしについて	23
5	参考資料 アンケート調査票	24

※ 自由記述形式で回答していただいたものについては、別冊「丹後町中学生以上全員まちづくりアンケート調査結果報告（自由記述編）」に掲載しています。

「丹後町中学生以上全員まちづくりアンケート調査結果報告（自由記述編）」は各区長さんが配布用に数部お持ちの他、丹後市民局でもお配りさせていただきますので、ご希望の方は丹後市民局（電話 69－0714）までお問い合わせください。

1 はじめに

人口減少、少子高齢化等が進む中、今後の丹後町の「まちづくり」を考えていくために、丹後町にお住まいの皆さんの思いや考えをお聞きする機会として、昨年 10 月に、中学生以上約 4,500 人の方を対象とした住民アンケートを実施しました。中学生のほぼ 100%（特別授業でアンケートを実施）をはじめ、回収率が約 70%と非常に高く、貴重なご意見をいただくことができました。住民の皆さんにおかれましては、公私ともにお忙しい中、アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

アンケート回収後、その結果を集計し、丹後町内の皆さんにお伝えするために、「住民アンケート結果報告」を作成いたしました。

このアンケートの結果は、皆さんへの「報告」のみにとどまらず、丹後町の将来を見据えた「まちづくり」を進める上での重要な資料として活用していきたいと考えておりますので、最後までご一読いただき、現在の丹後町の状況や住民の皆さんの思い等を感じ取っていただければありがたいと思います。

子ども、孫の代まで、私たちの地域、ふるさとをしっかりと引き継いでいくためには、地域全体における取り組みが必要であることをご理解いただき、今後の持続可能なまちづくりの実現、運営に向けて、是非ともご協力いただきますようお願いします。

平成 30 年 7 月

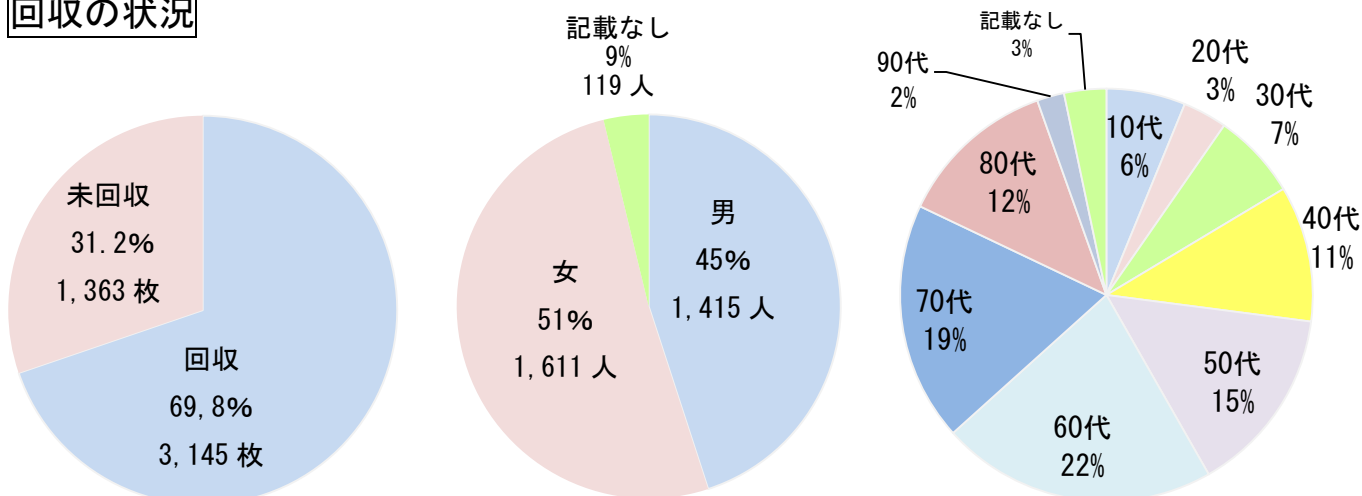
丹後町区長連絡協議会
丹後町まちづくり準備会

アンケート調査の概要

- | | |
|--------|---|
| 1 実施日時 | 平成 29 年 10 月～11 月（提出締切：平成 29 年 11 月 10 日） |
| 2 対 象 | 丹後町在住の中学生以上の住民 |
| 3 配布枚数 | 4,508 枚 |
| 4 回収枚数 | 3,145 枚（回収率 69.8%） |
| 5 回収方法 | 各町内の隣組長まで提出（その後、市民局で集約） |
| 6 調査方法 | 無記名、選択制（一部自由記述あり） |
| 7 調査内容 | 別添アンケート調査票を参照 |
| 8 実施主体 | 丹後町区長連絡協議会、丹後町まちづくり準備会 |

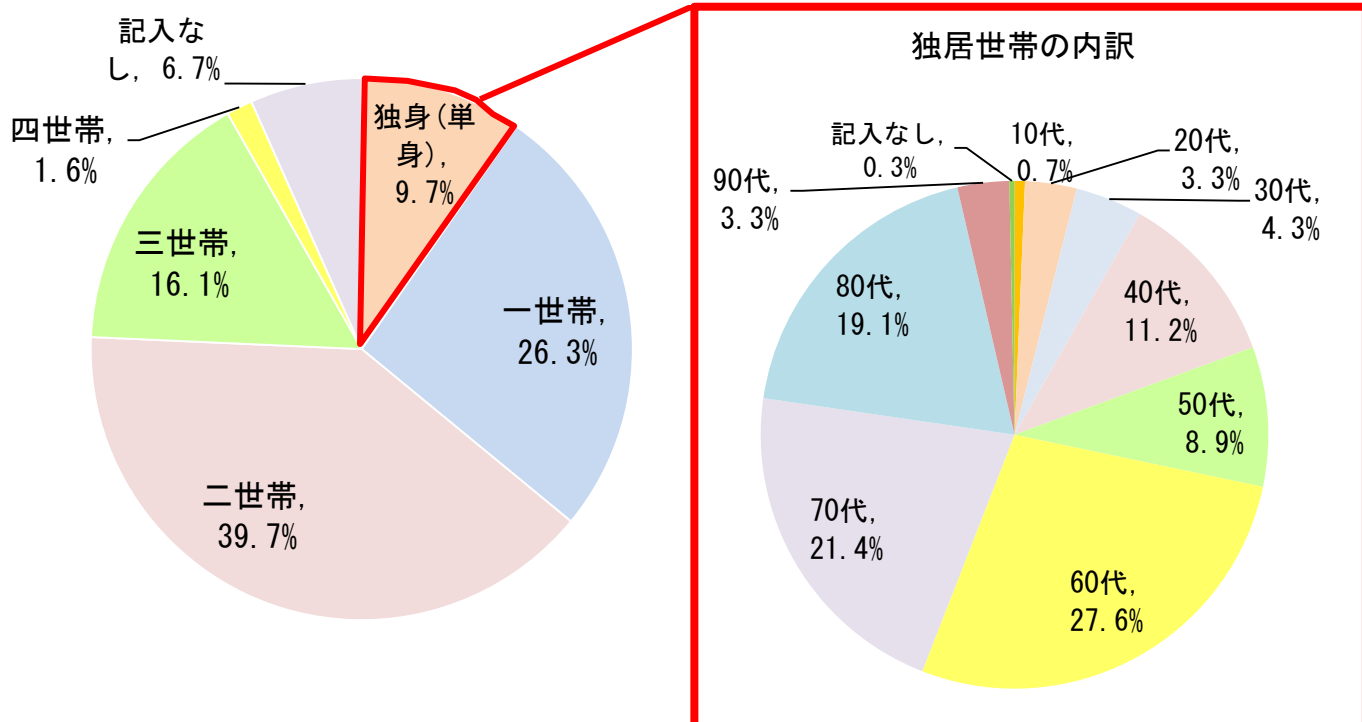
2 アンケート回収状況

回収の状況



平成 29 年 10 月に丹後町在住の中学生以上の約 4,500 人余りの住民のかたを対象に、アンケート調査を実施したところ、中学生のほぼ 100%（特別授業でアンケートを実施）をはじめ、回収率が約 70%となりました。内訳をみると、女性が 51%と男性よりも高い結果となり、本アンケート結果については広く女性の声 that 反映されたものといえます。世代別でみると、中学生以上を対象としたことから 10 代をはじめとする若い世代の声を聴くことができた一方で、回収したもののうち 60 代以上が占める割合が約 55%となりました。

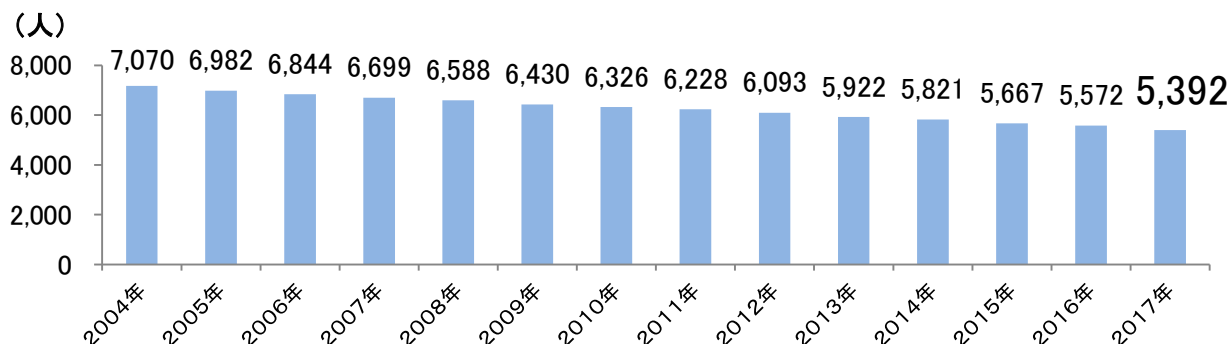
アンケート回答者の世帯構成



3 丹後町の現状

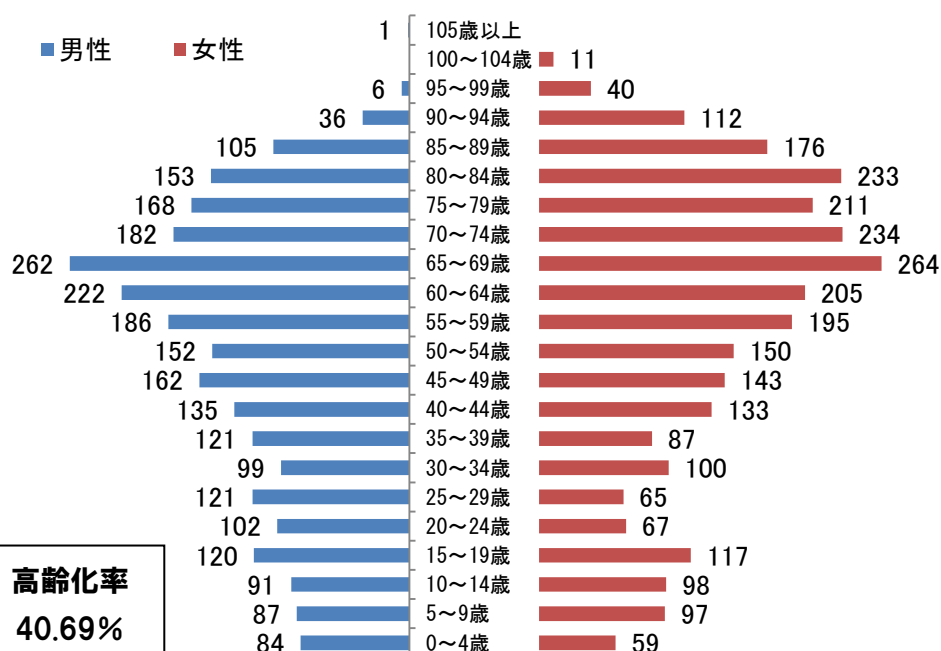
丹後町の人口減少と少子高齢化

住民基本台帳より（平成 29 年 3 月 31 日現在）



丹後町の年代構成(人口ピラミッド)

住民基本台帳より（平成 29 年 3 月 31 日現在）

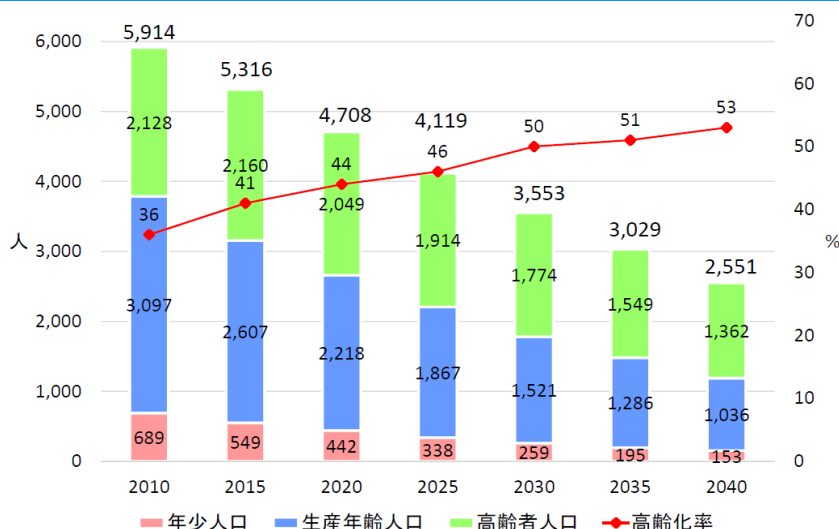


55 歳以下の人口が少なく、全体のうち 65 歳以上の高齢者が占める割合を表す高齢化率は、40.69%(男性 913 人、女性 1,281 人)となっています。

今後も人口が減少するなか、高齢化比率は 40%超で推移するものと予測されます。

これからの丹後町の人口の推移(予想)

平成 22 年及び平成 27 年国勢調査より

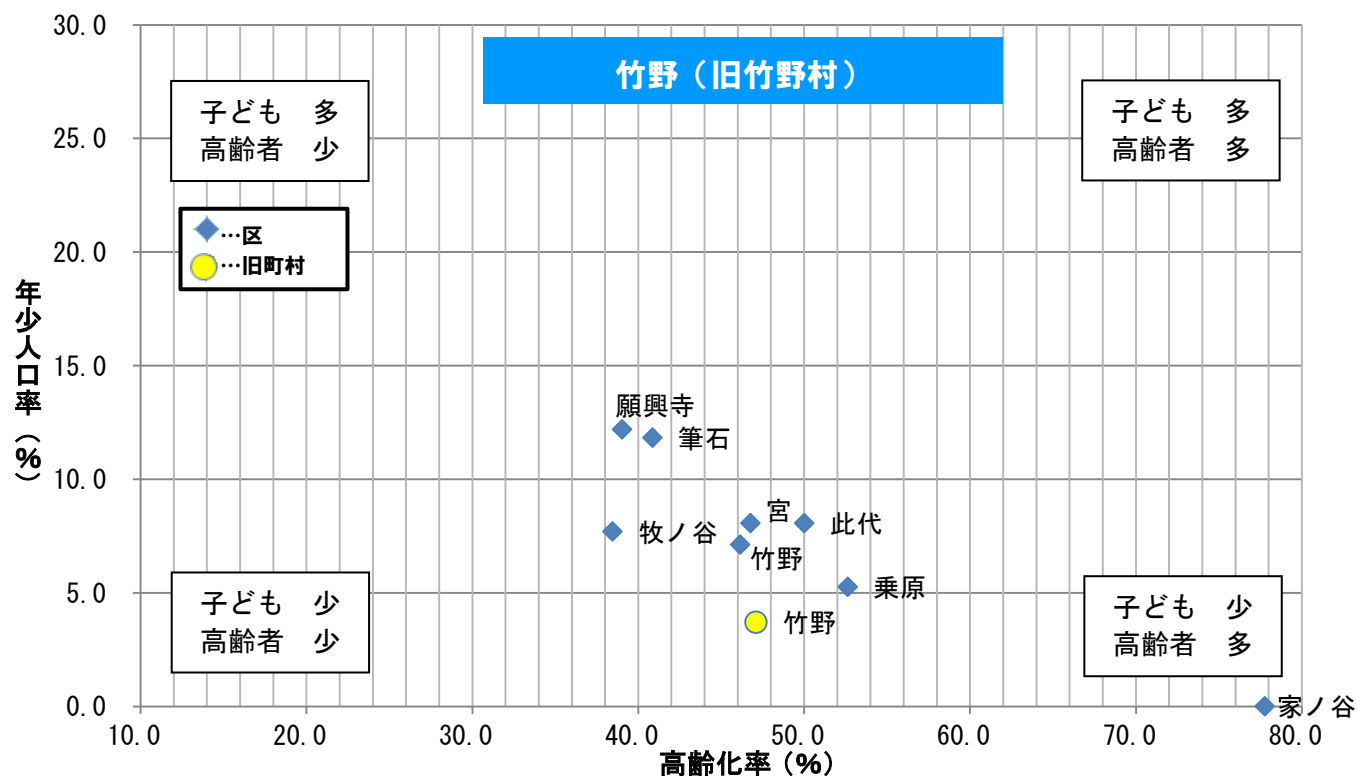
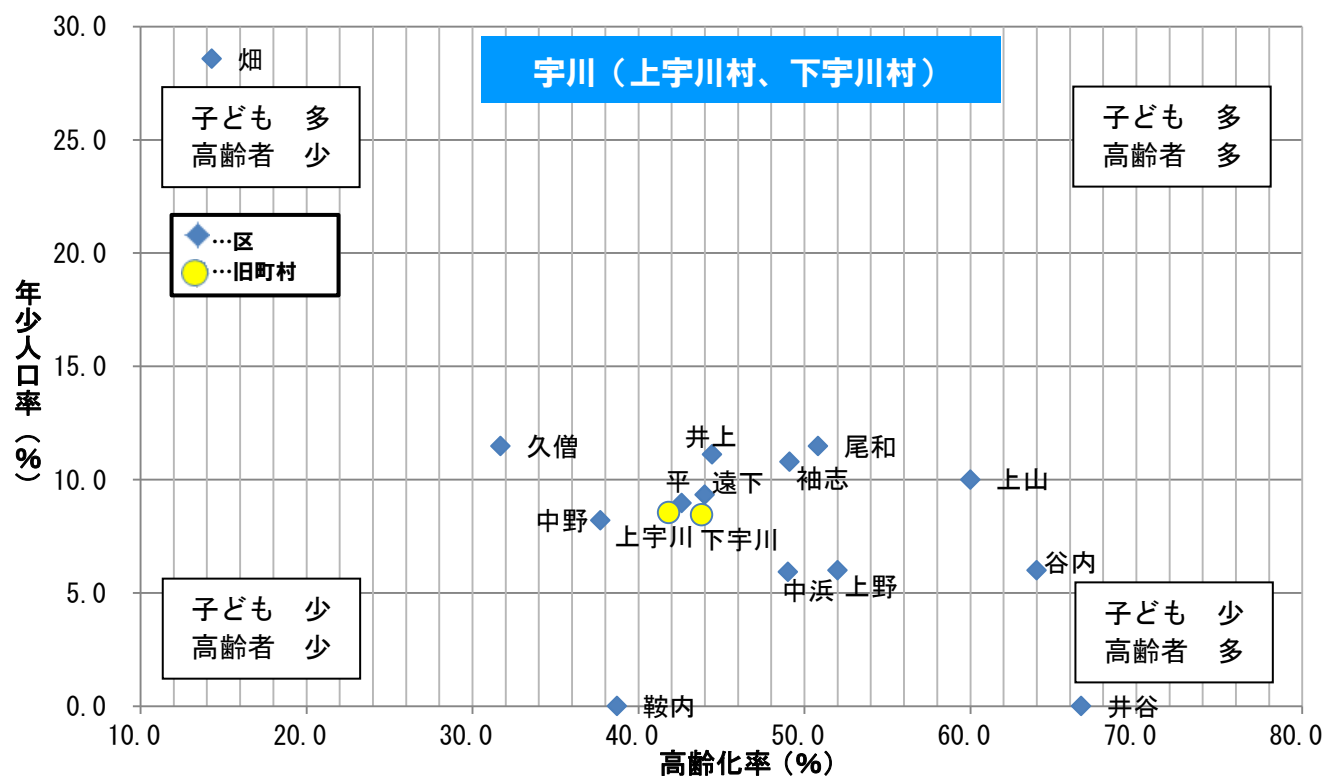


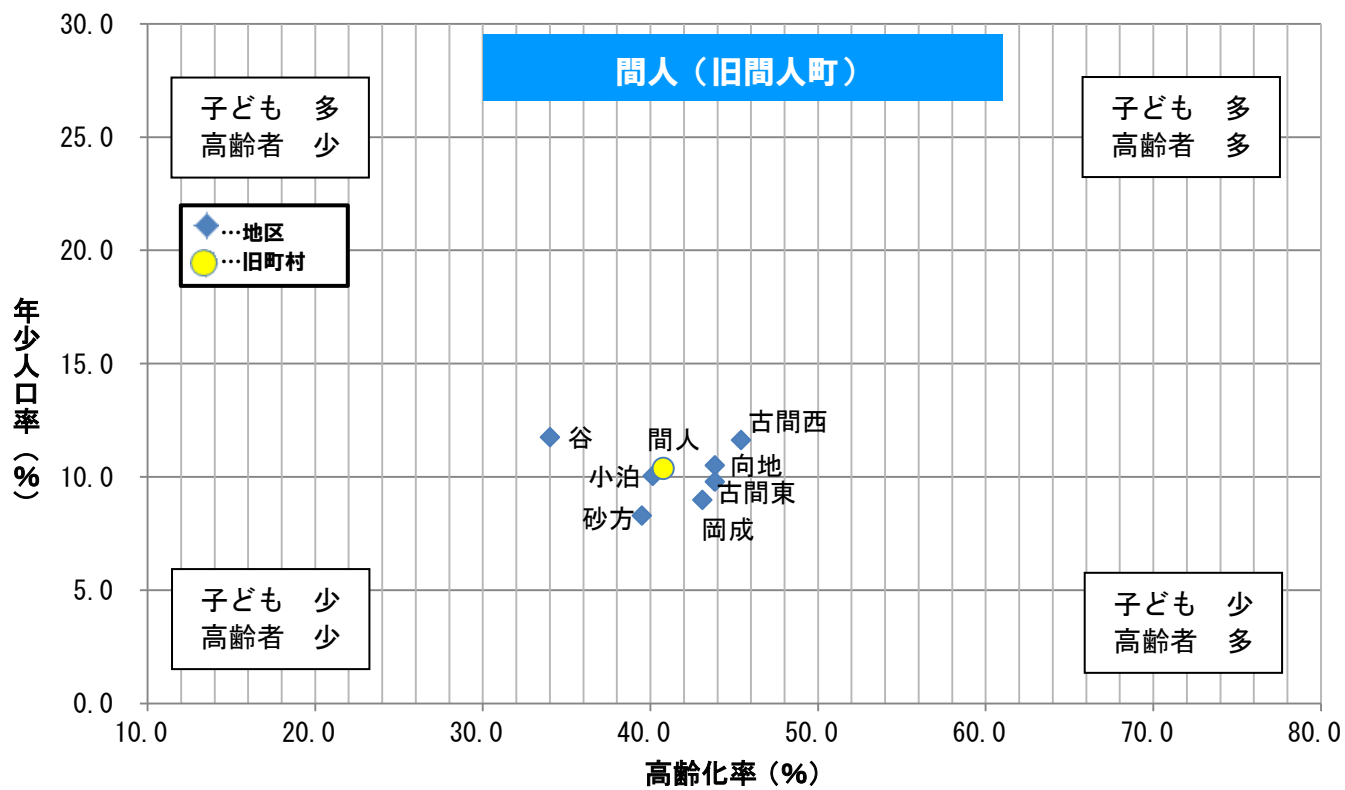
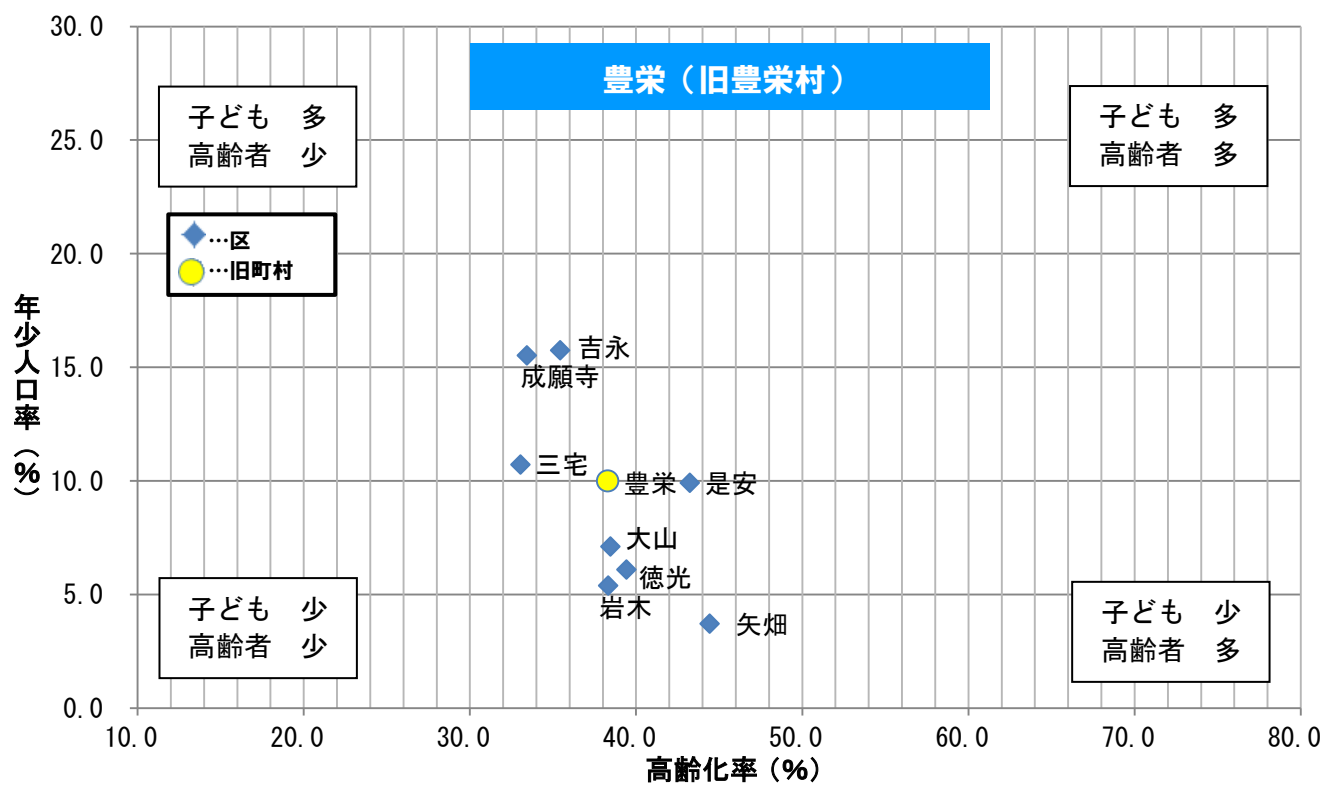
2040 年には、人口が約 2,500 人、全体のうち 65 歳以上の高齢者が占める割合を表す高齢化率が 53%、0～14 歳の人口を示す年少人口は約 150 人になると予想されています。

地区等における高齢化率と年少人口率

地域の現状を把握するために、全体に占める14歳以下の人口の割合を示す「年少人口率」と全体に占める65歳以上の人口の割合を示す「高齢化率」を用いて、分析しました。

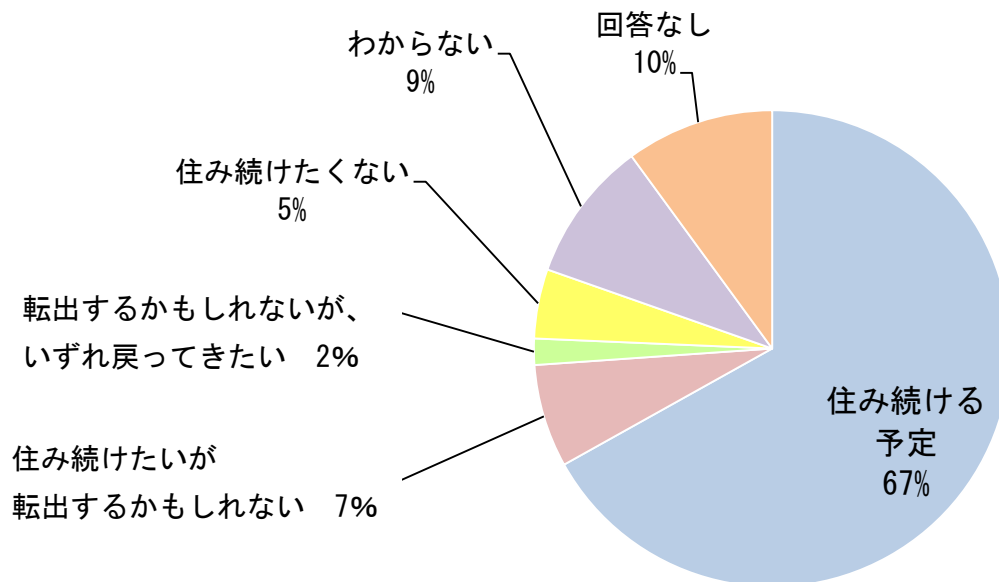
分析にあたっては、丹後町は昭和30年2月に、当時の間人町、豊栄村、竹野村、上宇川村、下宇川村が合併し誕生した経過があり、現在でも旧町村で連合区を構成したり、各行事や事業を行ったりしていることから、旧町村ごと区分けし分析を行いました。



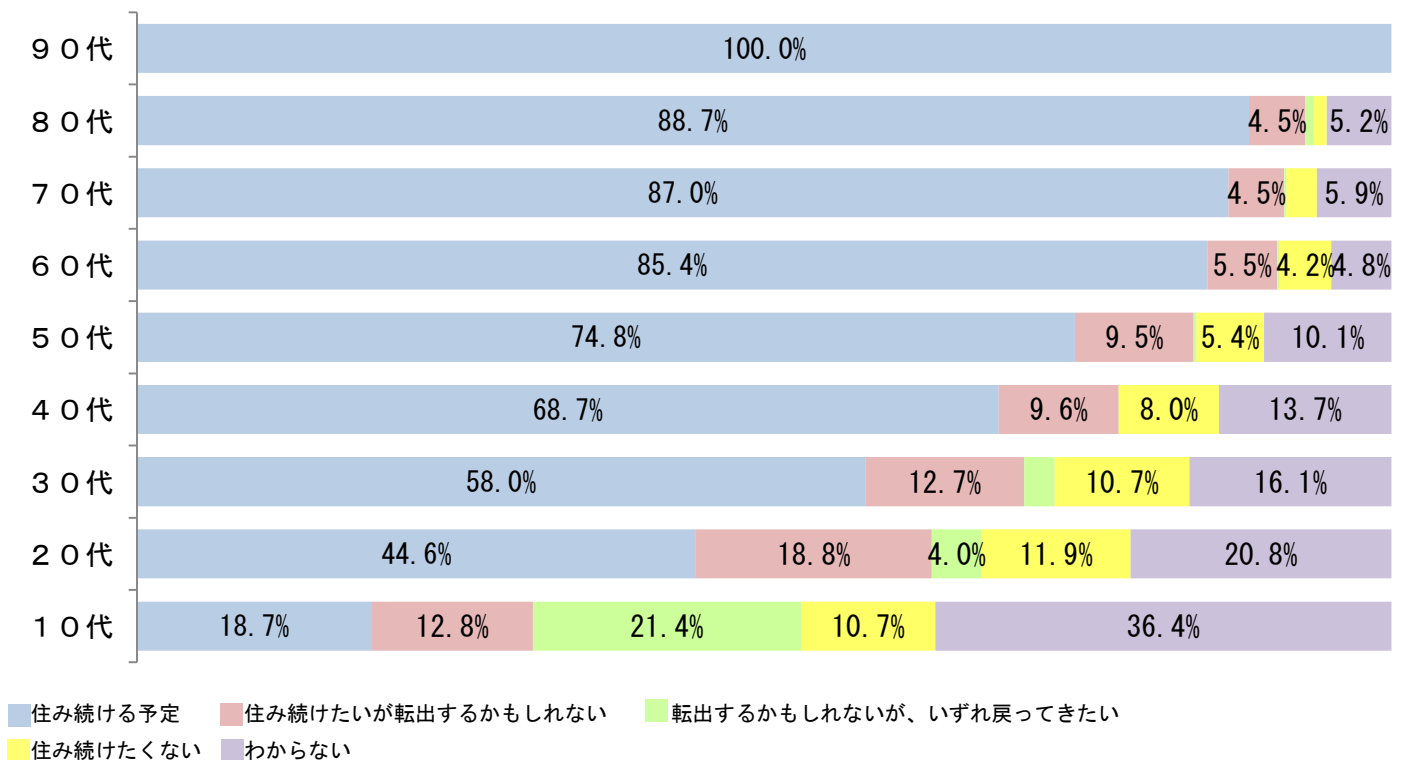


4 アンケート結果

(1) 丹後町に住み続けますか？



回答者の年代別分布



年代が上がるにつれて「住み続ける予定」の割合が高くなることがわかります。若い世代（10代～20代）をみると、全体の約65%が、「住み続けたい」「住み続けたいが転出するかもしれない」「転出するかもしれないが、いずれ戻ってきたい」のいずれかに回答しています。

(2) 各世代が思う丹後町に快適に住み続けるにはどうしたらいいのか？

丹後町で快適に生活するために必要だと思うことについて、年代別に特に多かった意見をまとめました。

全体の意見

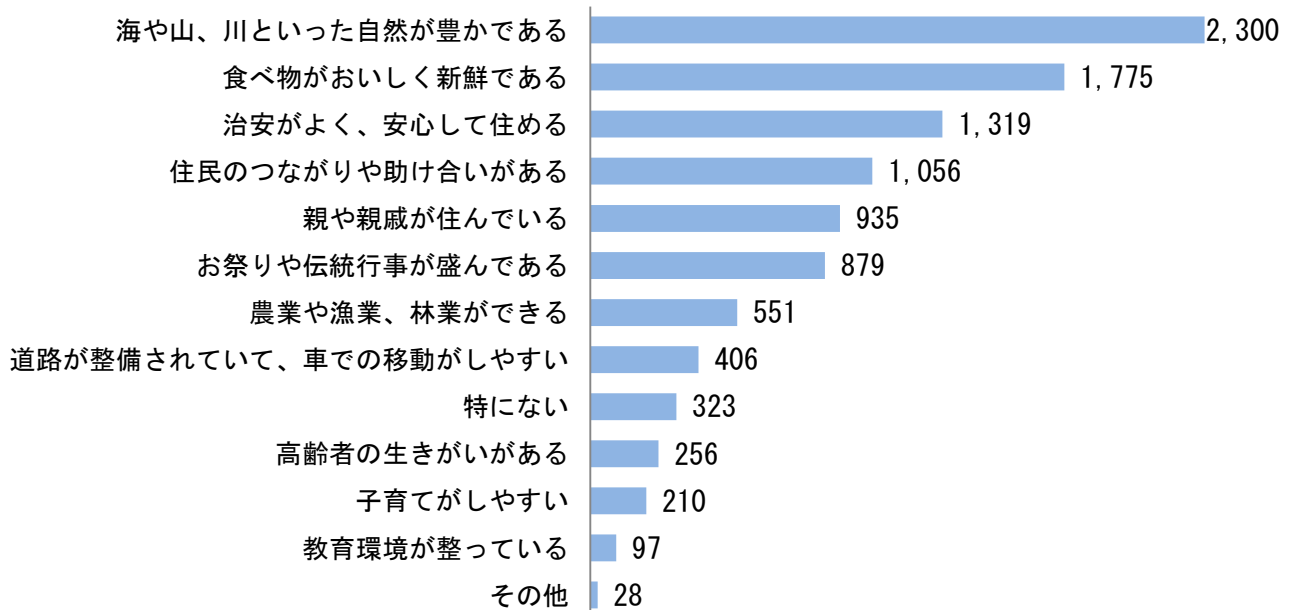
順位	内容
1 位	買い物（コンビニをつくる、買い物できるところを増やす等）
2 位	インフラ（道路整備、河川整備等）
3 位	バスなどの交通手段（200円バス充実、交通機関の整備等）
4 位	仕事（若者の働く場所等）
5 位	医療（小児科の充実、医療体制の維持等）

年代別の意見

年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1 位	買い物	買い物	買い物	買い物
2 位	交通	インフラ	インフラ	インフラ
3 位	インフラ	仕事	仕事	交通
4 位	仕事	交通	交通	仕事
5 位	医療	医療	医療	医療

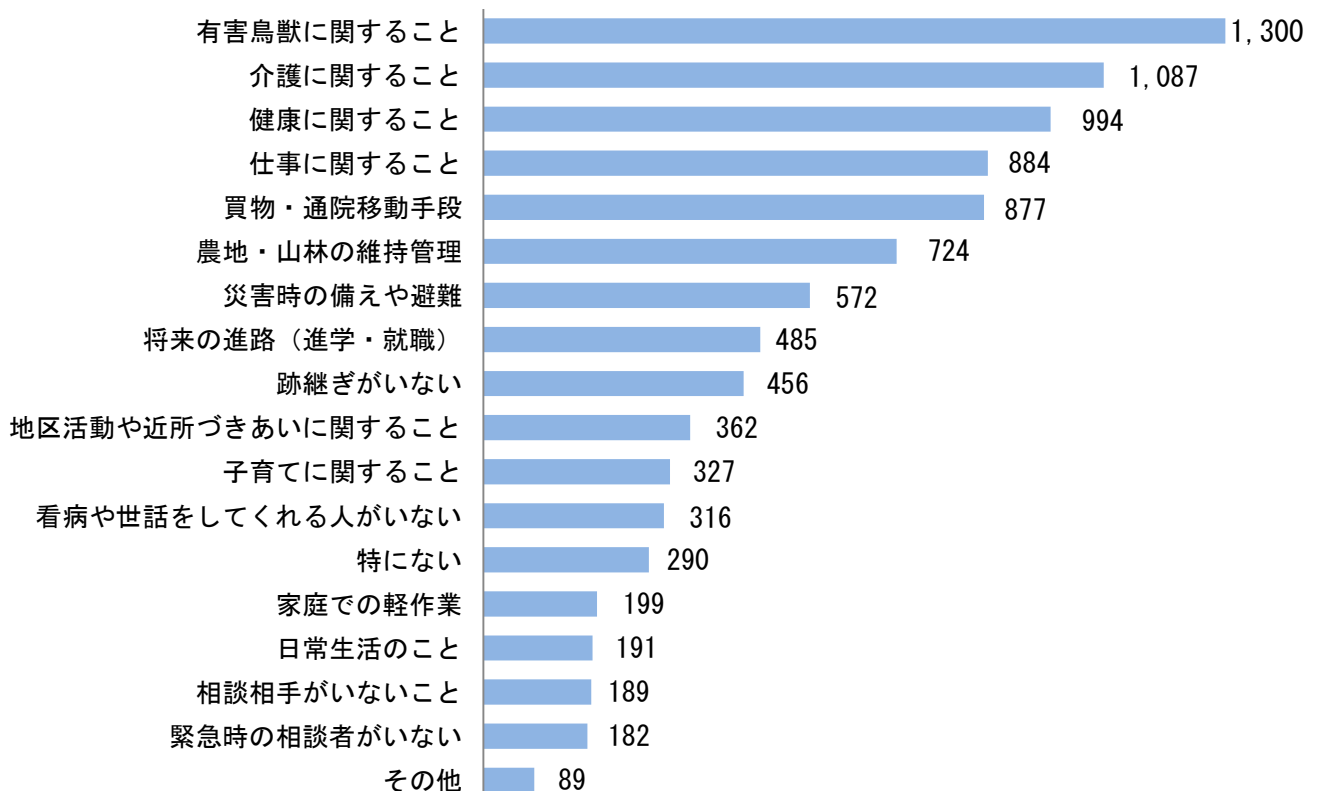
各年代を通して多かった意見は買い物で、コンビニやホームセンター等がほしいという意見が多くありました。また、インフラについては、道路整備に関する意見が多くありました。

(3) 丹後町のいいところ（複数回答）



豊かな自然と、自然が育む新鮮な食材が魅力だと思っている人が多いことがわかります。地域のつながりや安心して住める環境も魅力であると感じている人が多いです。

(4) 丹後町で不安に感じていること、困っていること（複数回答）



(5) 地域活動について

地域づくりには多様な地域活動が欠かせません。そこで、以下ア～チの17の地域の活動について、重要度や満足度について、調査を行いました。

調査項目（全17項目）

- ア 草刈り・海岸清掃・河川清掃・植栽活動などの地域内の美化・環境保全活動
- イ 防災・避難訓練・避難所運営訓練など、消防や防災の活動
- ウ 防犯や交通安全に関する活動（登下校の見守り隊を含む）
- エ 秋祭り、市民運動会など、地区住民が集うイベント開催
- オ 地区の伝統文化の継承（三番叟・神楽・太刀振り等など）
- カ 買物・通院・通学など、移動支援活動
- キ 高齢者の見守り、サロン、弁当宅配など、高齢者の生活支援活動
- ク 敬老会など、高齢者対象の行事・イベント開催
- ケ 子ども会など、子ども対象の行事・イベント開催
- コ 乳幼児や学童に対する子育て支援活動
- サ サークル、教室、スポーツなど、生涯学習や健康づくり活動
- シ 農地・山林の荒廃防止、耕作放棄地解消などの活動
- ス 特産品の開発や、販売する活動
- セ 地区外の人を呼び込むための観光や体験などの交流活動
- ソ 空き家紹介や地区案内など、移住希望者の受入活動
- タ 広報誌などによる地域住民向けの広報や情報の共有
- チ インターネットなどを活用した広報や情報発信

数値化の方法

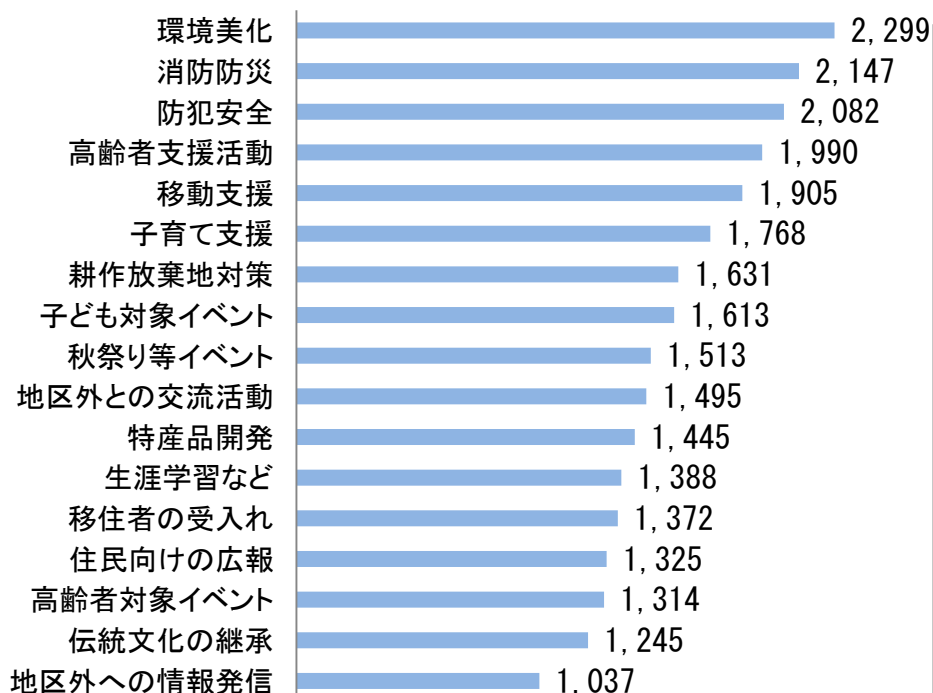
アンケートでは各地域活動について、重要度については「重要である、やや重要である、どちらともいえない、あまり重要でない、重要でない」、満足度については「満足・充分活動している、やや満足している、どちらともいえない、やや不満である、不満である・活動が足りない」と、それぞれ5段階で回答していただきました。

この結果報告では、以下のように数値化した上で、分析しました。

重要度	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
点数	1点	1点	0点	-1点	-1点

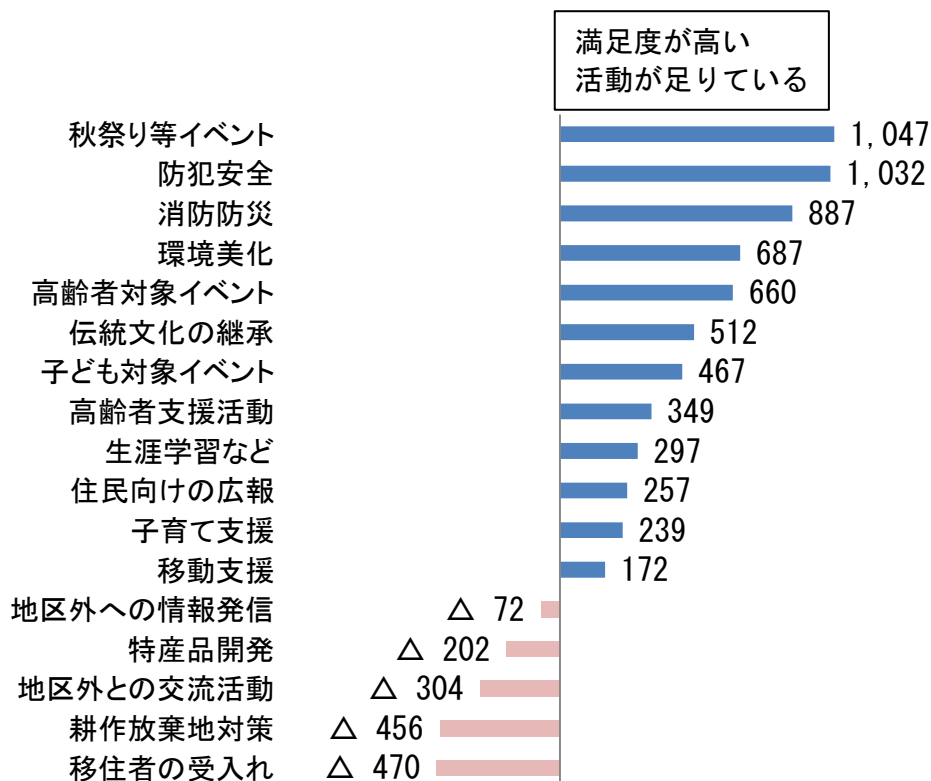
満足度	満足・充分活動している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である・活動が足りない
点数	1点	1点	0点	-1点	-1点

(5)－1 地域活動の重要度



重要度が高い項目は、「環境美化」「消防防災」「防犯安全」「高齢者支援活動」「移動支援」など、日常生活に密着した項目になりました。

(5)－2 地域活動の満足度



満足度が高い
活動が足りている

満足度が低い
活動が足りていない

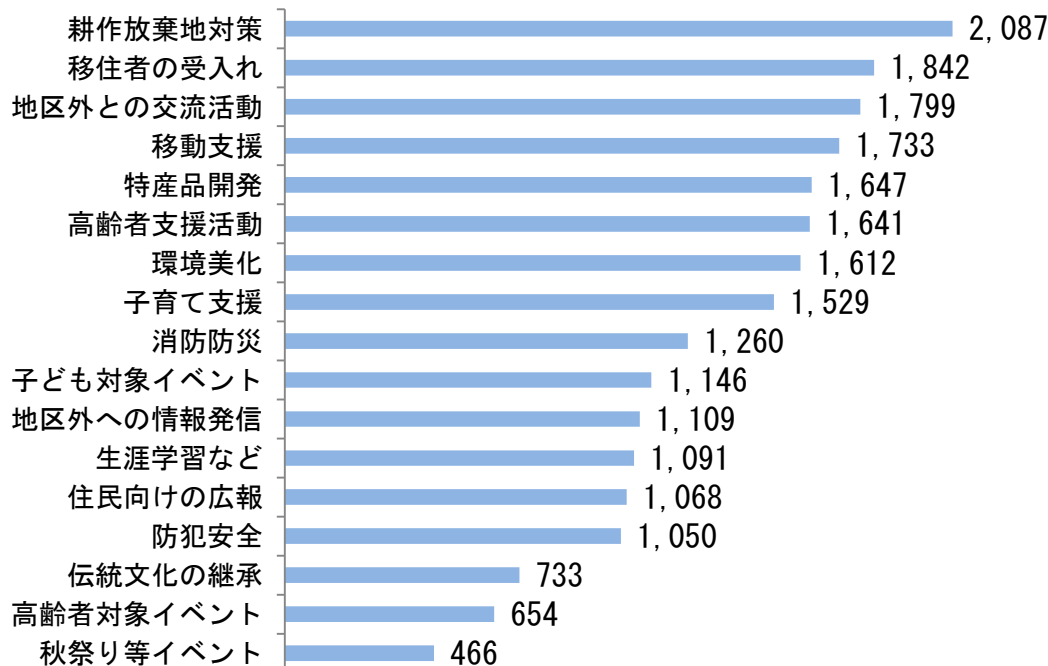
「秋祭り等イベント」「防犯安全」「消防防災」「環境美化」など地域全体で取り組んでいる活動に満足されている方が多いことがわかりました。

一方で、「移住者の受け入れ」「耕作放棄地対策」「地区外との交流」「特産品開発」などの満足度は低いことがわかりました。

(5)ー3 地域活動の足りない度合い(不足度)

「重要度」から「満足度」を差し引きすると、地域活動が十分に活動されているかを表す「不足度」を導くことができます。重要だと思っているが十分ではない活動や、逆に重要とされていて活動も十分だと感じている活動など、各活動に対する回答者の思いを知ることができます。

地域活動の不足度（全体）



活動が不足
重要なのに
満足していない



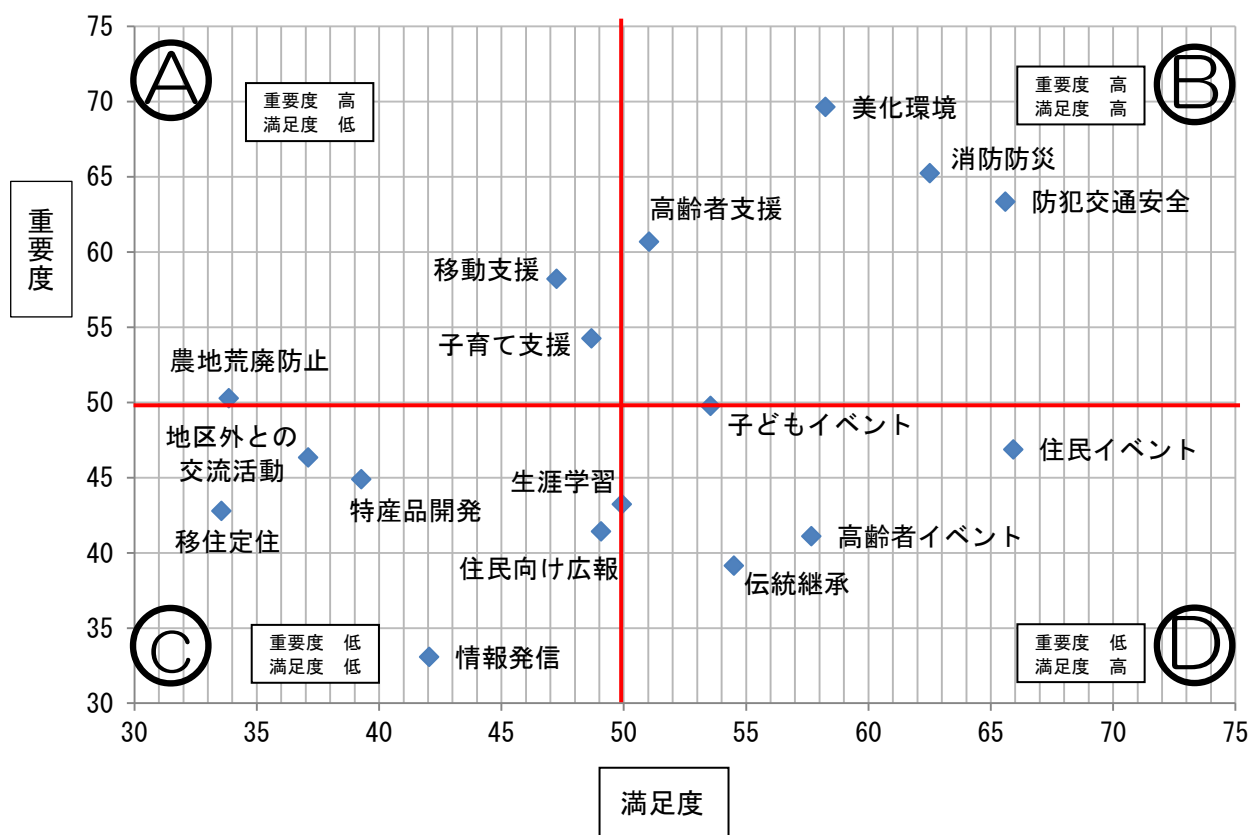
活動が十分
満足度が高い

地域活動の不足度（年代別ランキング）

年代別に表すと各世代で共通して認識している課題、世代ごとに感じている課題などがわかります。

年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	移住定住	移動支援	農地荒廃防止	農地荒廃防止
2位	移動支援	移住定住	移住定住	移住定住
3位	地区外との交流活動	地区外との交流活動	移動支援	地区外との交流活動
4位	農地荒廃防止	農地荒廃防止	美化環境	特産品開発
5位	子育て支援	高齢者支援	地区外との交流活動	美化環境
6位	地区外への情報発信	子育て支援	高齢者支援	高齢者支援
7位	高齢者支援	特産品開発	特産品開発	移動支援
8位	特産品開発	地区外への情報発信	子育て支援	子育て支援
9位	生涯学習	美化環境	消防防災	消防防災
10位	美化環境	防犯交通安全	子どもイベント	子どもイベント
11位	住民向け広報	子どもイベント	防犯交通安全	住民向け広報
12位	子どもイベント	消防防災	地区外への情報発信	生涯学習
13位	消防防災	住民向け広報	生涯学習	防犯交通安全
14位	高齢者イベント	生涯学習	住民向け広報	地区外への情報発信
15位	防犯交通安全	高齢者イベント	伝統継承	伝統継承
16位	伝統継承	伝統継承	高齢者イベント	秋祭り等イベント
17位	秋祭り等イベント	秋祭り等イベント	秋祭り等イベント	高齢者イベント

地域活動の重要度・満足度の偏差値分布



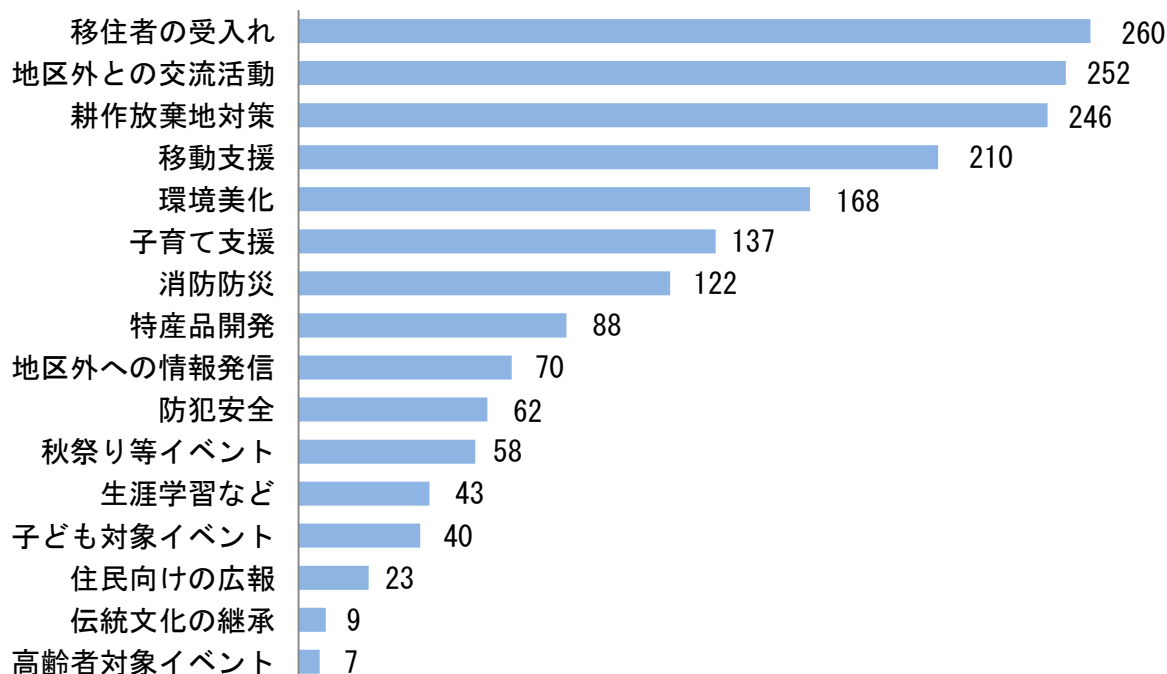
※偏差値分布表の見方

A	B
C	D

- A …重要度は高いが、活動は不十分である。
- B …重要度は高く、十分な活動が行われている。
- C …重要度は低く、活動は不十分である。
- D …重要度は低いが、十分な活動が行われている。

(5)ー4 最も優先して取り組む活動

最も優先して取り組む活動（全体）



※アンケートでは、最も優先して取り組む活動の課題に解決するためにどのように取り組むべきか自由記述形式で回答していただきました。この回答については、「自由記述編」の「6 最も優先して取り組むべき課題の課題解決について（P29～P53）」に掲載しています。

最も優先して取り組む活動（年代別ランキング）

年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	地区外との交流活動	地区外との交流活動	移住定住	農地荒廃防止
2位	移動支援	移住定住	地区外との交流活動	移住定住
3位	秋祭り等イベント	移動支援	農地荒廃防止	高齢者支援
4位	美化環境	子育て支援	移動支援	移動支援
5位	子育て支援	美化環境	高齢者支援	地区外との交流活動
6位	農地荒廃防止	消防防災	美化環境	美化環境
7位	移住定住	高齢者支援	子育て支援	特産品開発

(6) 生活基盤施設(インフラ)について

地域生活の基盤となる以下ツ～マの14の施設（以下、インフラといいます。）について、重要度や満足度の調査を行いました。

調査項目（全14項目）

- ツ 水道
- テ 下水・浄化槽
- ト 道路整備
- ナ 河川整備
- ニ 農地整備・鳥獣害対策
- ヌ 集会所等公共の場の整備・改築
- ネ 学校など教育施設の整備・拡充
- ノ 観光施設のトイレなどの整備
- ハ インターネット環境の整備
- ヒ 携帯電話基地局整備
- フ 200円丹海バス・市営デマンドバスの継続
- ヘ 介護施設の整備
- ホ 賃貸（アパートなど）住宅の整備
- マ 新設住宅の敷地の整備

数値化の方法

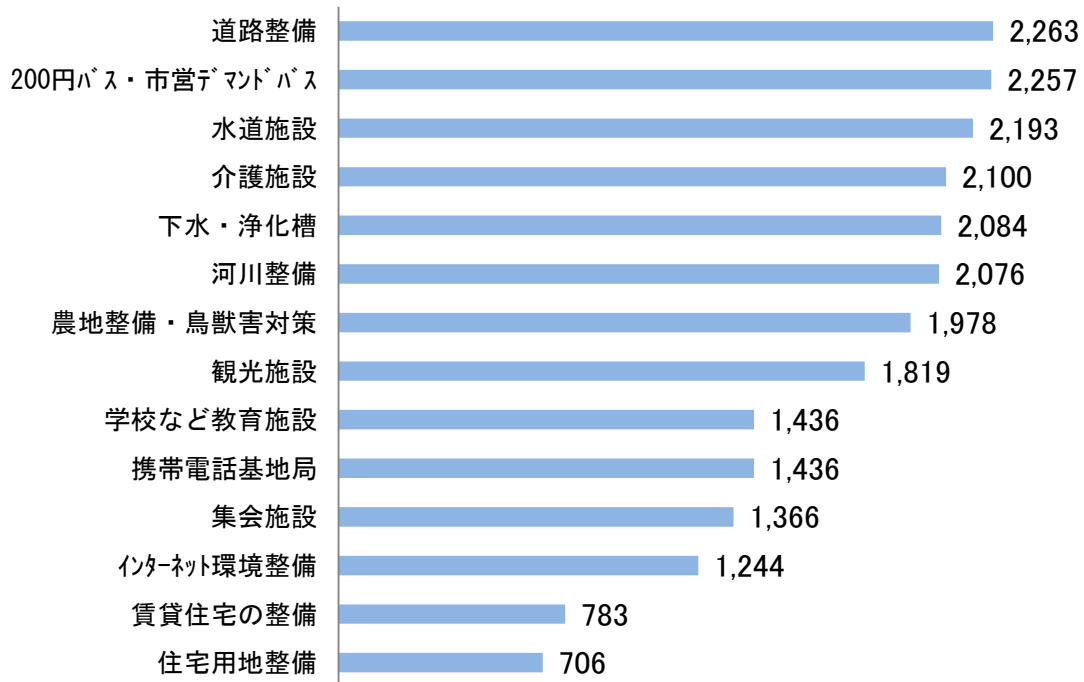
アンケートでは各施設について、重要度については「重要である、やや重要である、どちらともいえない、あまり重要でない、重要でない」、満足度については「満足・充分活動している、やや満足している、どちらともいえない、やや不満である、不満である・活動が足りない」と、それぞれ5段階で回答していただきました。

数値化と分析にあたっては、「11 ページ」の「地域活動」と同じ方法で行いました。

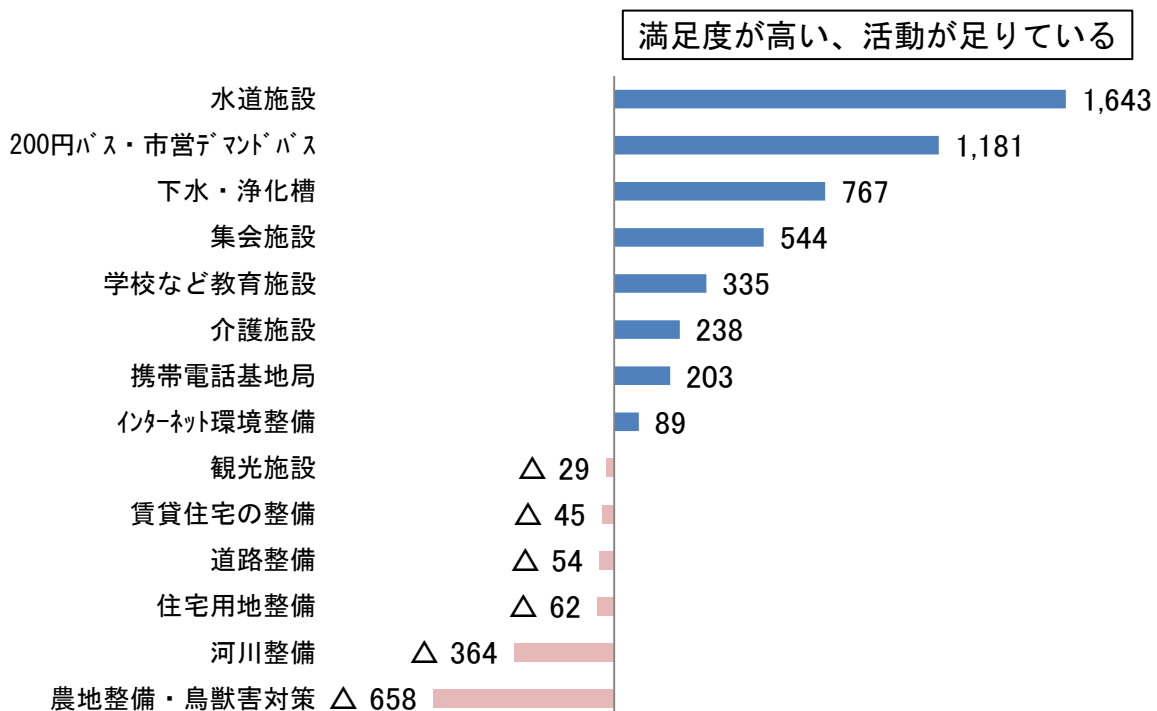
重要度	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
点数	1 点	1 点	0 点	-1 点	-1 点

満足度	満足・充分活動している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である・活動が足りない
点数	1 点	1 点	0 点	-1 点	-1 点

(6)ー1 インフラの重要度



(6)ー2 インフラの満足度

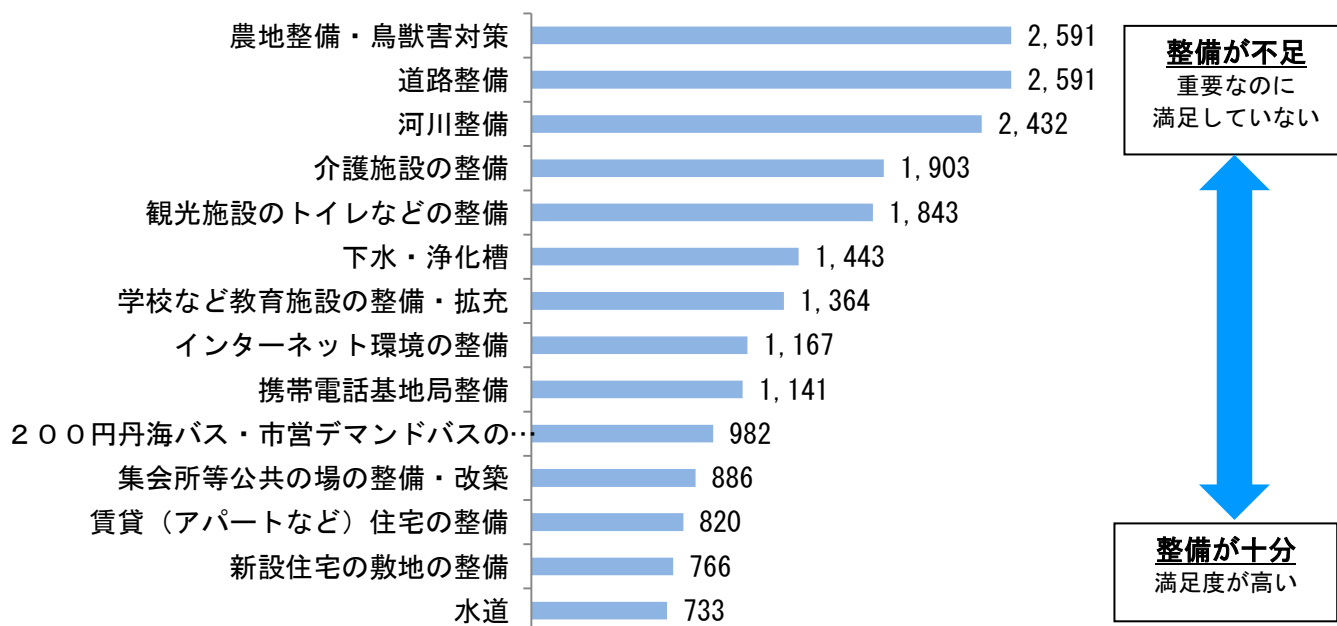


満足度が低い、活動が足りていない

(6)ー3 インフラの足りない度合(不足度)

インフラについても「重要度」から「満足度」を差し引き、十分に整備されているかを表す「不足度」を算出しました。この方法については、「13 ページ」の「5ー3 地域活動の足りない度合い(不足度)」と同じ方法で行っています。

インフラの不足度(全体)

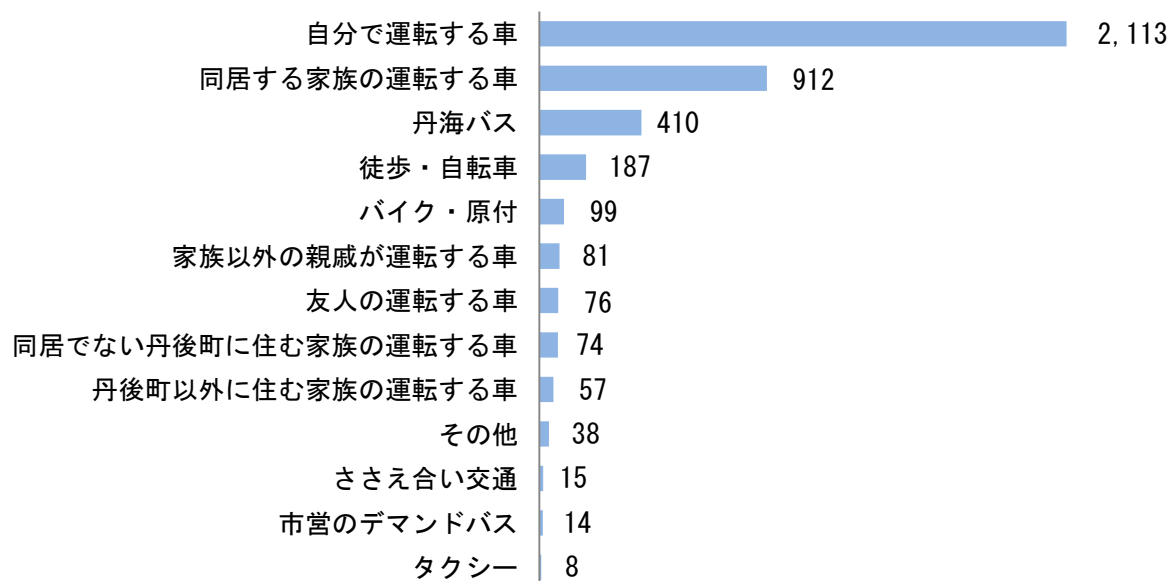


インフラの不足度(年代別ランキング)

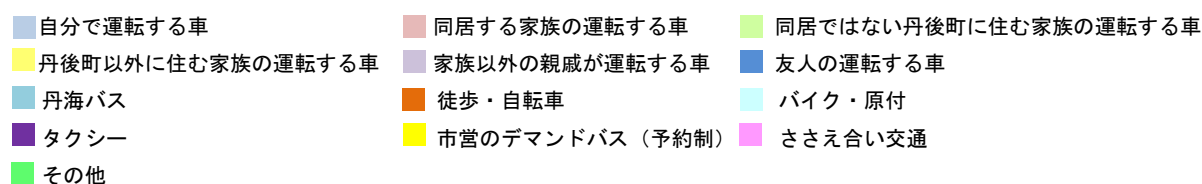
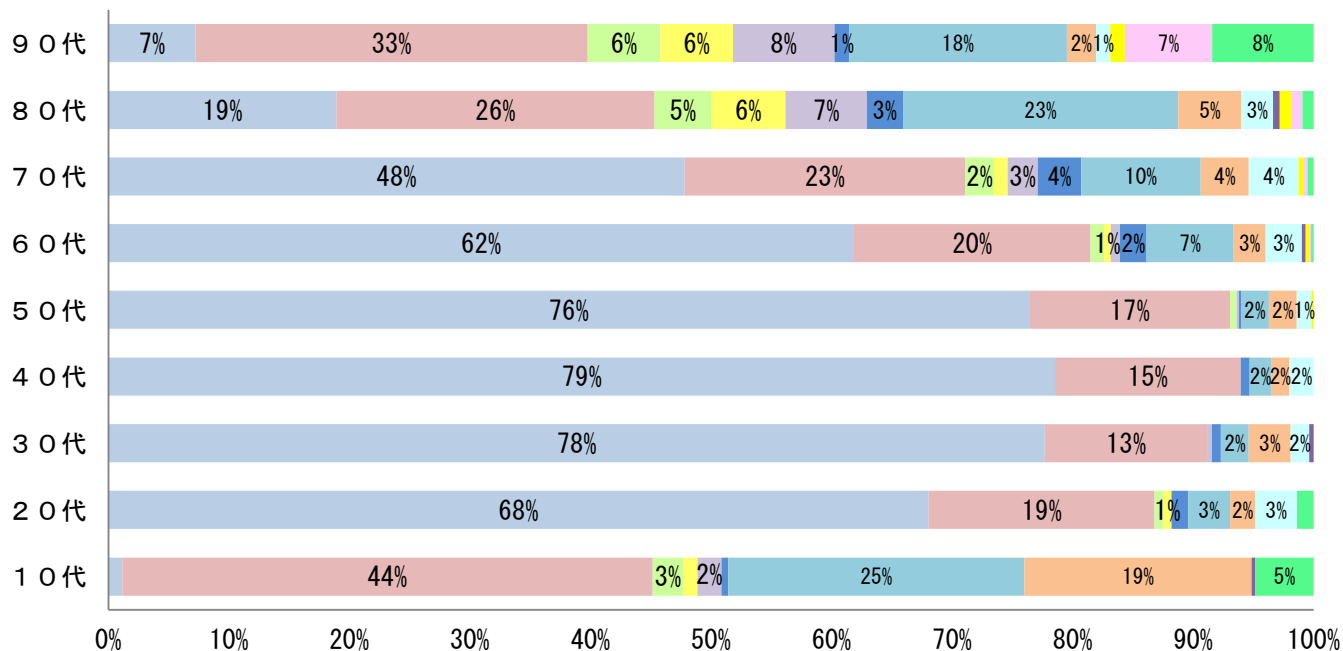
年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	道路整備	道路整備	農地整備・鳥獣害対策	農地整備・鳥獣害対策
2位	観光施設のトイレなどの整備	河川整備	道路整備	道路整備
3位	インターネット環境の整備	農地整備・鳥獣害対策	河川整備	河川整備
4位	農地整備・鳥獣害対策	介護施設の整備	介護施設の整備	介護施設の整備
5位	携帯電話基地局整備	観光施設のトイレなどの整備	観光施設のトイレなどの整備	観光施設のトイレなどの整備
6位	河川整備	インターネット環境の整備	下水・浄化槽	下水・浄化槽
7位	介護施設の整備	下水・浄化槽	学校など教育施設の整備・拡充	学校など教育施設の整備・拡充
8位	学校など教育施設の整備・拡充	学校など教育施設の整備・拡充	携帯電話基地局整備	200円丹海バス・市営デマンドバスの継続
9位	賃貸(アパートなど)住宅の整備	携帯電話基地局整備	インターネット環境の整備	集会所等公共の場の整備・改築
10位	新設住宅の敷地の整備	賃貸(アパートなど)住宅の整備	200円丹海バス・市営デマンドバスの継続	インターネット環境の整備

(7) 移動について

仕事や通学、買い物等の日常的な移動手段は？

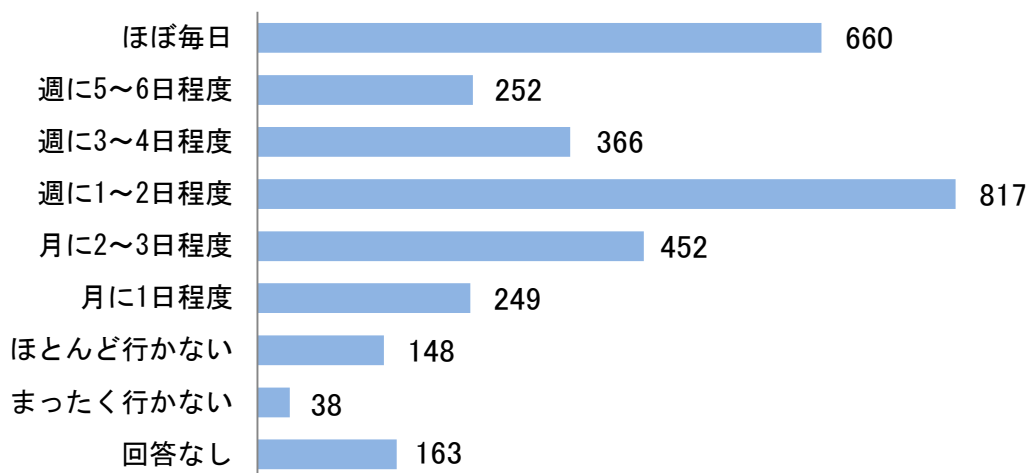


仕事や通学、買い物等の日常的な移動手段（年代別）

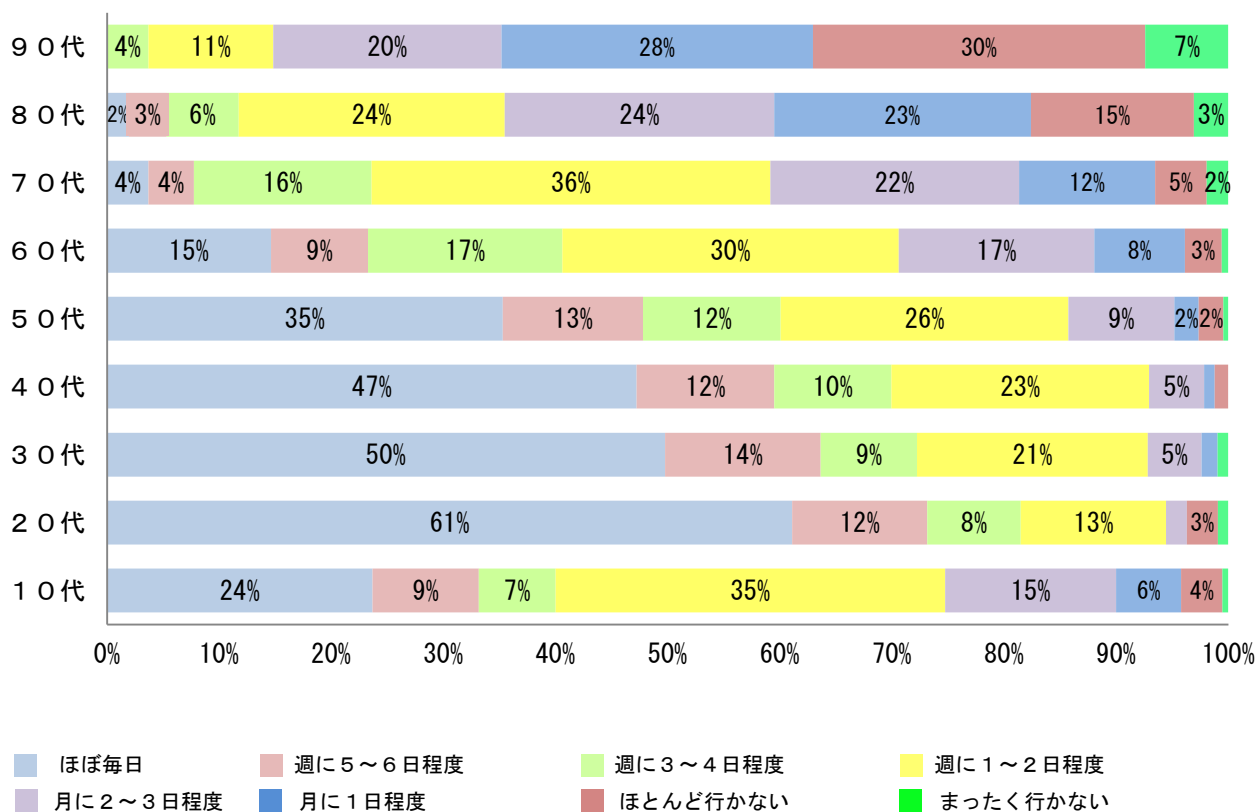


(8) 活動の頻度について（複数回答）

仕事や通学、買い物等でどの程度、丹後町以外の地区に行きますか？

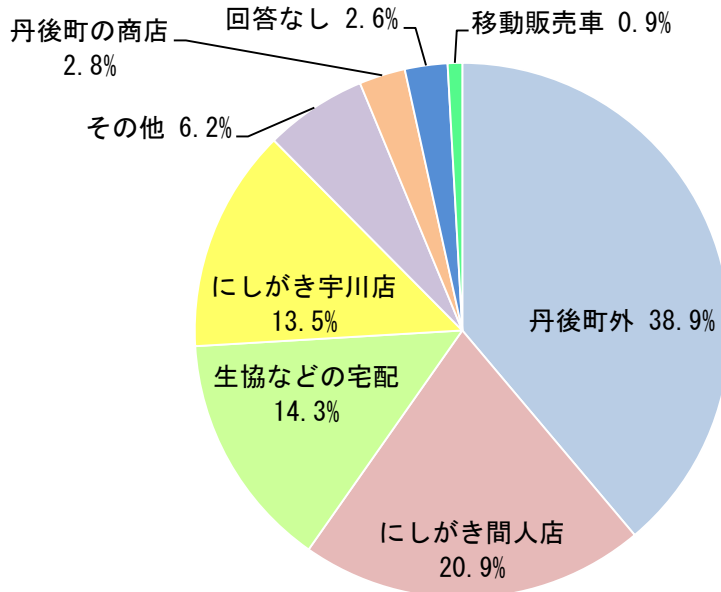


丹後町以外の地区に行く頻度（年代別）

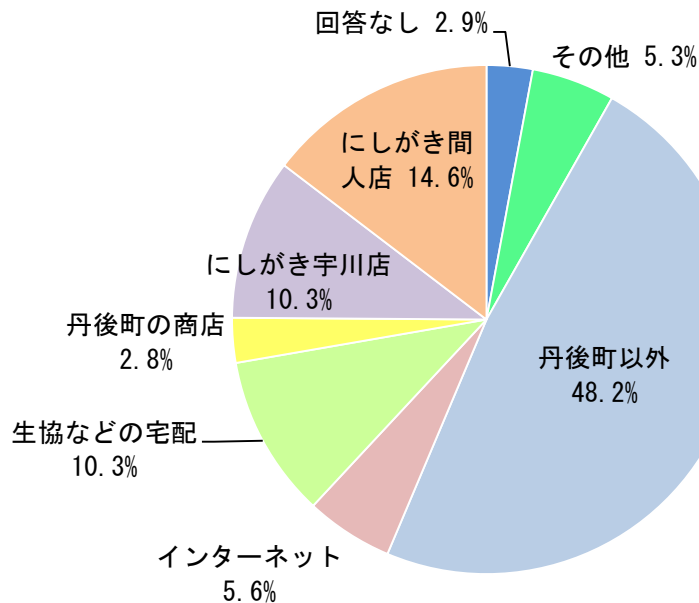


(9) 経済活動について（複数回答）

いつも食料品の買い物をする場所は？



いつも日用品の買い物をする場所は？



アンケートの結果から、丹後町外で買い物をする方が多いことがわかります。特に日用品については、約半数が丹後町以外で買い物をされています。地区別の1位は、間人区は丹後町外が47%（2位はにしがき間人店26%）、豊栄連合区は丹後町外が54%（2位は生協などの宅配13%）、竹野連合区は丹後町外が47%（2位はにしがき間人店22%）、宇川地区（上宇川と下宇川）はにしがき宇川店が41%（2位は丹後町外33%）となっています。

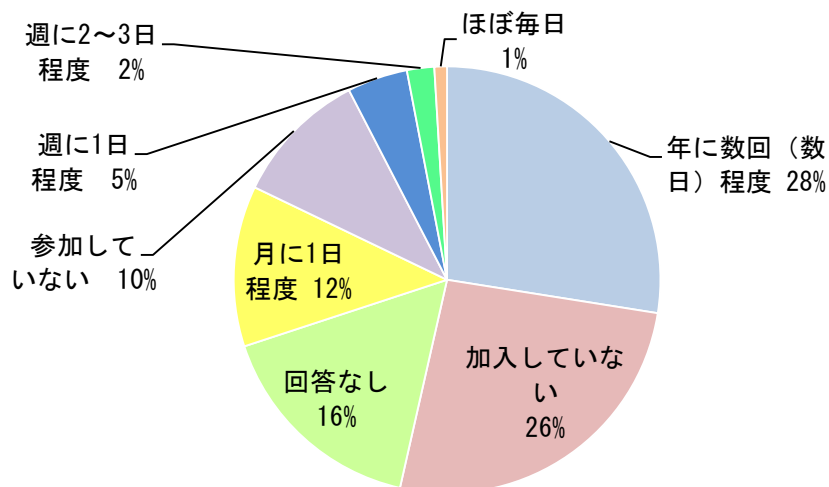
特産品に関する記載抜粋（自由記載）

地域の経済の活性化に欠かせない要素の一つである特産品に関する記述を抜粋しました。

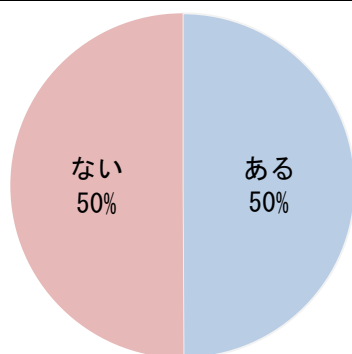
- 目の前に海があっても、おいしい魚、海草などが手に入りにくいので、魚、海草などの加工所みたいな所（例えば宇川加工所、イノシシなどの獣も一緒に販売する）
- 特産品もいいが、地元の人にもっと魚介が安く手に入る様になる事がいいと思う。例えば伊根町の漁協のように
- 宇川加工所の製品を、丹後王国や道の駅等のイベントで出品することは、素晴らしいと思いました
- 東京で丹後の米、野菜、魚の加工品を販売すれば自然のものは何でも売れる
- 間人カニ、魚などの加工販売実施の拡大。さかな等の加工品をネット販売する
- きれいな海があるので、魚、ワカメその他養殖などしてはどうでしょうか
- カニ、サザエ、アワビ、もずく、岩のり、わかめ
- 米を使った商品開発（パン、麺）。麦アレルギー対策。米の消費拡大。麦は輸入、米は自前
- 間人カニやちりめん、へしこ等をふるさと納税に出品し、全国の人に知ってもらう
- 農産物加工（漬物等）。海草加工（食品化）
- 間人カニはもちろんですが…世の中アレルギーの人って結構居るので、そればかり推すのは・・・。気軽に購入できるものが出来れば良いのですが、小魚をボリボリ食べられる乾燥させたものがあればよいかと。カルシウム&栄養補給に手軽なお土産と地元でも売れるかと
- 魚の加工品等は、町を挙げての施設を作り、若者が働ける所を作るのと観光に来てもらうのを目的として考えては・・・
- TVで岡山の人だったと思うが、日本全国でバナナ等南洋産物が作れるようになっていた。そういう事を研究している人がいるのだろうか？私は年だから出来ないが・・・。米なんか作らなくてもバナナ、パイナップル等を海外に売る事が出来ればと思う
- 海産物などの特産品だけでなく、どこにでもある物で新しい商品開発、面白い商品などアイデアしだいでブームになる物がある。ネットや口コミなども利用して、間人に来るとこんな物があるという物を作ってほしい
- とにかく仕事がない。峰山大宮へ通勤するならそこへ住もうとなっても仕方がない。市で働く場を整備しないと流出は止まらない
- 耕作放棄地にそば、エゴマなどを植え、宇川全体で取り組む組織をつくる
- 朝来市では、特産品の「岩津ねぎ」の収穫時には「あさご暮らし体験会」が開催され、収穫参加や調理体験、農家による農業セミナーや移住相談会も実施されている。宇川の特産品も多くの人に宇川への関心を持っていただくことに生かされることが重要
- 平区のピオーネは他所と比較しても、味、大きさ等、抜群であり、もっと生産拡大し包装にも特色をだし、全国にPRしていくべきであると思います
- 宇川の天然鮎をもっとPRし、観光にも活かすようにできないでしょうか。上宇川漁協も組合員の減少で維持して行くのが大変厳しくなっている
- 給食に特産品を出してほしい
- 給食を少し高くしたり、いいというアピールをする
- 間人カニ、ちりめんを特産品はもう古い。産業に担い手がいなのは魅力がないから。市内でも丹後町にしかないもの（野菜でもなんでも）をアピール
- それぞれ組織だって知恵を出し販路拡大まで考え、丹後町の〇〇が一番というものを取り組む。海産物と野菜類、米等セット販売に取り組む
- 竹林が荒廃しているので有効活用ができないか（木材チップのように）
- 織物布でランチョンマット、コースター、テーブルクロス。国営農地で出荷できない野菜加工（カット野菜でサラダとか）
- 農業のことで丹波では黒豆に力を入れている、丹後町でも「これ」といったものがあればいいと思う
- 漁港のブイヤベース、魚のスープやカレーをレトルトや缶詰で防災備蓄用として開発

(10) 自治・地域活動について

地域住民組織や団体への参加について

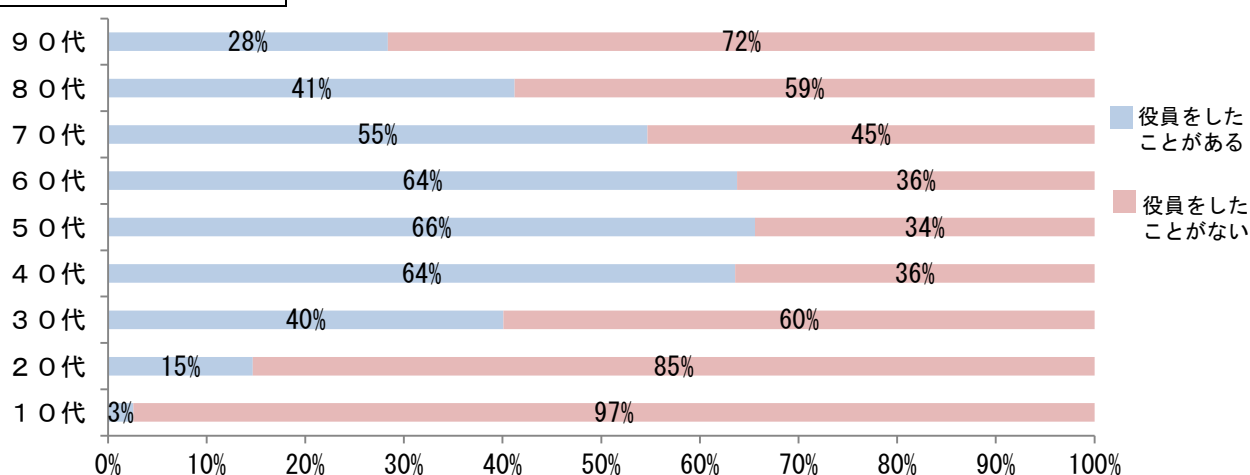


地域住民組織や団体の役員をしたことがありますか？



半数の方が、なんらかの団体の役員をしたことがわかりました。
また、あると答えた方の内訳をみると、男性が56.1%、女性が42.9%となり、男性の方が高い割合となりました。

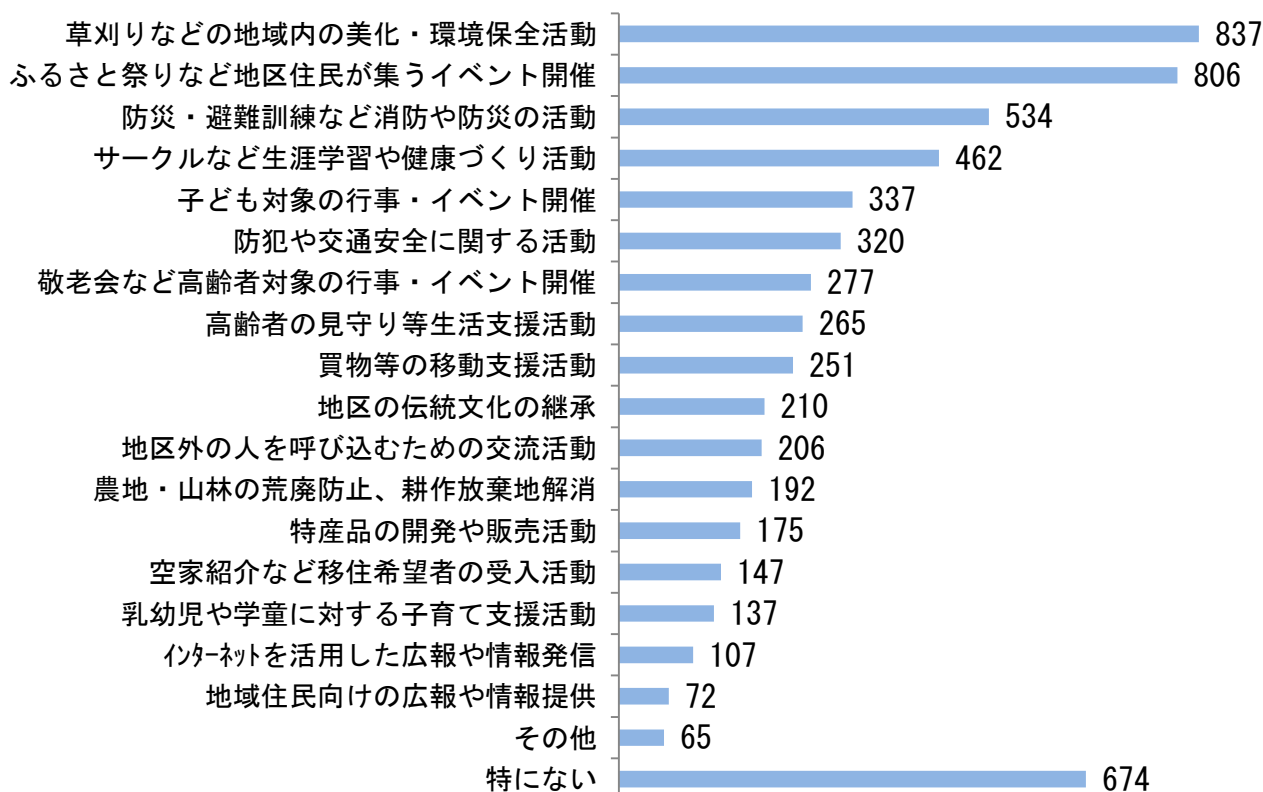
回答者の年代別分布



※ アンケートでは、役員をしたことが「ある」と回答された方に、役員をしていた時のよかった点や、活動の問題点、改善点などについて自由記述形式で回答していただきました。この回答については、「自由記述編」の「8 役員をしていた時のよかった点や、活動の問題点、改善点など（P81～97）」に掲載しています。

(11) これから行なってみたい地域活動、協力できる活動

これから行なってみたい地域活動、協力できる活動（全体）

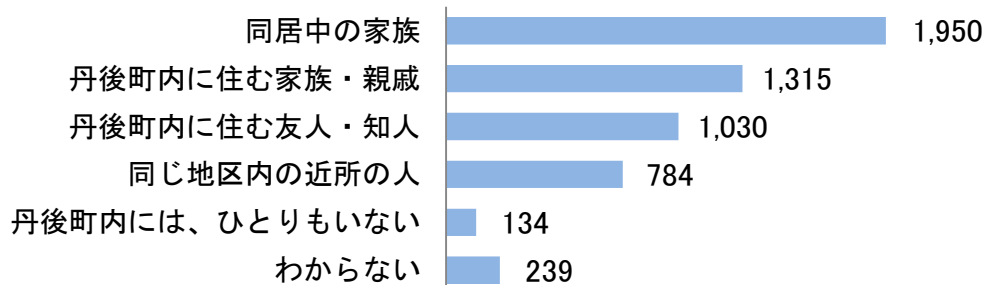


これから行なってみたい地域活動、協力できる活動（年代別ランキング）

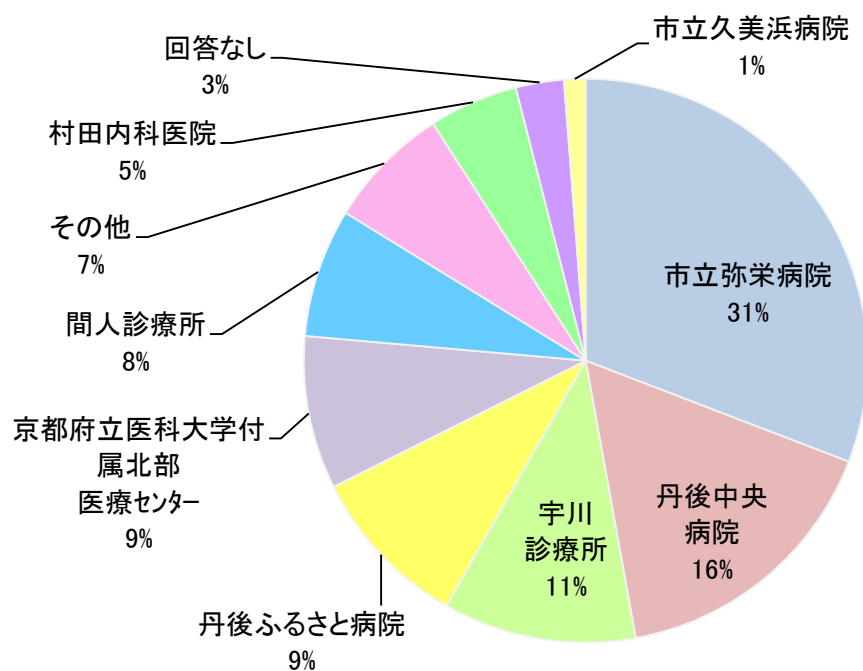
年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動	特にない
2位	子ども対象の行事・イベント開催	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動
3位	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動	子ども対象の行事・イベント開催	特にない	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催
4位	防災・避難訓練など消防や防災の活動	防災・避難訓練など消防や防災の活動	防災・避難訓練など消防や防災の活動	敬老会など高齢者対象の行事・イベント開催
5位	地区の伝統文化の継承	特にない	サークルなど生涯学習や健康づくり活動	防災・避難訓練など消防や防災の活動
6位	サークルなど生涯学習や健康づくり活動	サークルなど生涯学習や健康づくり活動	高齢者の見守り等生活支援活動	サークルなど生涯学習や健康づくり活動
7位	特にない	防犯や交通安全に関する活動	防犯や交通安全に関する活動	高齢者の見守り等生活支援活動

(12) その他・暮らしについて

いざという時に助け合える人や相談できる人はいますか？



体調が悪くなったり病気になったとき、もっともよく行く医療機関は？



不安に感じていることや困っていることについては、農林業や健康福祉に関する項目が上位になりました。

また、多くの人が助け合える人や相談できる人が町内にいると回答した一方で、丹後町にはひとりもないという方もおられました。

医療機関では、弥栄病院や丹後中央病院が多く利用されています。宇川地域では宇川診療所が最も高く 33%、ついで弥栄病院 30%となりました。

5 参考資料 アンケート調査票（一問一答）

1. 回答するご自身についてお聞きします。
 それぞれの質問について、該当する番号に○をしてください。

質問	回	答
性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. 10代	2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
あなたは世帯主ですか？	6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上	1. はい 2. いいえ
何人家族ですか？	() 人	
あなたの世帯はどれですか？ (同一敷地内は一世帯)	1. 独身(単身) 3. 二世帯世帯(例 親+子) 5. 四世帯世帯(例 曾祖父母+曾父母+親+子)	2. 夫婦のみ世帯 4. 三世帯世帯(例 祖父母+親+子)
現在のお住まいの地区はどこですか？	1. 間人地区 4. 上宇川地区	2. 豊栄地区 5. 下宇川地区 3. 竹野地区
その地区に住むようになって、今年で何年になりますか？(通算年数)	1. 5年未満 3. 10年以上20年未満	2. 5年以上10年未満 4. 20年以上
あなたは現在何をされていますか？ (複数回答可)	1. 農業、漁業、林業 4. 自営業 7. 高校生 10. その他()	2. 会社員、公務員、団体職員 5. パート、アルバイト 8. 大学・専門学校生 9. 無職 3. 会社経営者や会社役員 6. 中学生
日常的に同居している家族に、右の欄に該当する方がいますか？	20歳未満 65歳以上	はい・いいえ はい・いいえ

まちづくりアンケート調査についてお願い

丹後町の皆さん、こんにちは。

丹後町は昭和30年2月に、当時の間人町、豊栄村、竹野村、上宇川村、下宇川村が合併し誕生しました。その年の10月に実施された国勢調査では、人口は11,620人でしたが、京丹後市合併後の平成17年の国勢調査では6,545人、そして、平成27年の国勢調査では5,316人となり、60年間で6,304人が減少しました。このままではいくと、30年後には、丹後町では、人口は3千人台になると予測されます。

「私の地区はまだ大丈夫」と思われるかも知れませんが、周辺も含め、自分たちの暮らしている地域の5年後、10年後について、今から考え始めていくことが必要だと思っています。

このような中で、丹後町区長連絡協議会の役員会を中心とした「丹後町まちづくり準備会(仮称)」は、町内各地域の今後のまちづくりを考えていくために、住民アンケートを実施することになりました。

世代を超えて多くの方の思いや考えをお聞きするため、中学生以上全員を対象として実施させていただきますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、中学生については、学校で一括して行いますので、ご家庭で実施していただく必要はありません。

また、このアンケートをきっかけに、地域の課題を明確にし、今後のまちづくりに活かしていきたいと思っています。

ご記入いただいたアンケートは、平成29年11月10日(金)までに、世帯ごとに各町内の隣組長まで提出していただきますようお願いいたします。

平成29年 月 日
 丹後町区長連絡協議会
 丹後町まちづくり準備会(仮称)

2. 生活についてお聞きます。

問 1 丹後町に住んでいて、あなたがよいと思う点、満足している点はどれですか？
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 お祭りや伝統行事が盛んである
- 2 住民のつながりや助け合いがある
- 3 海や山、川といった自然が豊かである
- 4 治安がよく、安心して住める
- 5 子育てがしやすい
- 6 教育環境が整っている
- 7 道路が整備されていて、車での移動がしやすい
- 8 高齢者の生きがいがある
- 9 食べ物がいちく新鮮である
- 10 親や親戚が住んでいる
- 11 農業や漁業、林業ができる
- 12 特にない
- 13 その他 ()

問 2 丹後町で生活するうえで、あなたが不安に感じていること、困っていることは何ですか？
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 健康に関すること
- 2 介護に関すること
- 3 子育てに関すること
- 4 将来の進路(進学・就職)のこと
- 5 仕事に関すること
- 6 食事づくり、洗濯、ごみ出しなどの日常生活のこと
- 7 庭作業や電気器具・家具の修理などの家庭での軽作業のこと
- 8 農地・山林の維持管理のこと
- 9 日常的な相談をする相手がいらないこと
- 10 看病や世話をしてくれる人がいらないこと
- 11 財源が足りないこと
- 12 緊急時の相談先になつてくれる人がいらないこと
- 13 買い物・通院などの移動に関すること
- 14 地区の活動や近所づきあひに関すること
- 15 災害時への備えや避難に関すること
- 16 有苦島嶼(さる、いのしし、くま、しか、たぬき等)に関すること
- 17 特にない
- 18 その他 ()

6

問 3 あなたには、丹後町の中に、いざというときに助け合える人や、信頼して相談できる人がいますか？ (あてはまるものすべてに○をつけてください)

- 1 同居中の家族
- 2 丹後町内に住む家族・親戚
- 3 丹後町内に住む友人・知人
- 4 同じ地区内の近所の人
- 5 丹後町内には、ひとりもいない
- 6 わからない

問 4 あなたは仕事や通学、買い物、通院などで、どの程度、丹後町以外の地区に行きますか？
(最もあてはまるものひとつに○)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に5～6日程度
- 3 週に3～4日程度
- 4 週に1～2日程度
- 5 月に2～3日程度
- 6 月に1日程度
- 7 ほとんど行かない
- 8 まったく行かない

問 5 あなたは仕事や通学、買い物、通院などの日常的な移動手段はどうしていますか？
(主にあてはまるものふたつまで○)

- 1 自分で運転する車
- 2 同居する家族の運転する車
- 3 同居ではない丹後町に住む家族の運転する車
- 4 丹後町以外に住む家族の運転する車
- 5 家族以外の親戚が運転する車
- 6 友人の運転する車
- 7 丹海バス
- 8 徒歩・自転車
- 9 バイク・原付
- 10 タクシー
- 11 市営のデマンドバス(予約制)
- 12 ささえ合い交通
- 13 その他 ()

7

問6 どこで、食料品や日用品の買い物を行いますか？

① いつも食料品の買い物をする場所（最もよく利用するところ、ふたつに○）

- 1 にしがき間人店
- 2 にしがき宇川店
- 3 丹後町の商店
- 4 生協などの宅配
- 5 移動販売車
- 6 丹後町以外（マイン、コンビニ等）
- 7 その他（ ）

② いつも日用品の買い物をする場所（最もよく利用するところ、ふたつに○）

- 1 にしがき間人店
- 2 にしがき宇川店
- 3 丹後町の商店
- 4 生協などの宅配
- 5 インターネット
- 6 丹後町以外（マイン、コメリ、コンビニ等）
- 7 その他（ ）

問7 あなたは、体調がわるくなったり、病気になるたびに、もっともよく行く医療機関はどこですか？（○はふたつまで）

- 1 間人診療所
- 2 宇川診療所
- 3 村田内科医院
- 4 弥栄病院
- 5 久美浜病院
- 6 丹後中央病院
- 7 与謝の海病院（京都府立医科大学附属北部医療センター）
- 8 丹後ふるさと病院
- 9 その他（ ）

3. 丹後町での活動についてお聞きします。

問8 丹後町で行っている、または、行うべきと考える下記の活動について、それぞれ、重要度と満足度を教えてください。
（回答例）に基づいて、それぞれ該当するものひとつに○を記入して下さい。

活動内容	重要度 （このうちの一つに○）				満足度 （このうちの一つに○）			
	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	満足している	やや満足している	どちらでもない
【回答例】草刈り・海岸清掃・河川清掃・植栽活動などの地域内の美化・環境保全活動	○					○		やや不足である
【回答例】防災・避難訓練・避難所運営訓練など、消防や防災の活動	○							不足である・活動が足りない
以下に記入をお願いします								
ア 草刈り・海岸清掃・河川清掃・植栽活動などの地域内の美化・環境保全活動								
イ 防災・避難訓練・避難所運営訓練など、消防や防災の活動								
ウ 防犯や交通安全に関する活動（登下校の見守り隊を含む）								
エ 秋祭り、市民運動会など、地区住民が集うイベント開催								
オ 地区の伝統文化の継承（三番夏・神楽・太刀振り等など）								
カ 買物・通院・通学など、移動支援活動								
キ 高齢者の見守り、サロン、弁当宅配など、高齢者の生活支援活動								
ク 敬老会など、高齢者対象の行事・イベント開催								

	重要度（このうちの一つに○）		満足度（このうちの一つに○）			
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	満足・充分活動している
ケ 子ども会など、子ども対象の行事・イベント開催						
コ 乳幼児や学童に対する子育て支援活動						
サ サークル、教室、スポーツなど、生涯学習や健康づくり活動						
シ 農地・山林の荒廃防止、耕作放棄地解消などの活動						
ス 特産品の開発や、販売する活動						
セ 地区外の人を呼び込むための観光や体験などの交流活動						
ソ 空き家紹介や地区案内など、移住希望者の受入活動						
タ 広報誌などによる地域住民向けの広報や情報の共有						
チ インターネットなどを活用した広報や情報発信						

問 9 問 8 のア～チの活動で、丹後町で最も優先して取り組むべき活動は何だと思いますか？あてはまる上記の活動の記号（ア～チ）を1つ記入してください。

()

問 10 問 9 で選択した活動の課題を解決するためには、どのように取り組むべきだと思いますか？

問 11 丹後町における下記のインフラ（地域生活の基盤になる施設）などの整備について、重要度と満足度を教えてください。
問 8 の回答例に準じてそれぞれ該当するものひとつに○を記入して下さい。

インフラ等の種類	重要度 (このうちの一つに○)				満足度 (このうちの一つに○)				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である・活動が足りない
インフラ等の種類	ツ 水道								
	テ 下水・浄化槽								
	ト 道路整備								
	ナ 河川整備								
	ニ 農地整備・鳥獣害対策								
	ヌ 集会所等公共の場の整備・改築								
	ネ 学校など教育施設の整備・拡充								
	ノ 観光施設のトイレなどの整備								
	ハ インターネット環境の整備								
	ヒ 携帯電話基地局整備								
	フ 200円丹海バス・市営デマンドバスの継続								
	ヘ 介護施設の整備								
	ホ 賃貸(アパートなど)住宅の整備								
	マ 新設住宅の敷地の整備								

問12 あなたは、丹後町に今後も住み続ける予定ですか？

- 1 住み続ける予定
- 2 住み続けたいが転出するかもしれない
- 3 転出するかもしれないが、いずれ戻ってきたい
- 4 住み続けたくない
- 5 わからない

問13 あなたにとって、丹後町で快適に生活するために、必要だと思うことを3つ書いてください。

1	
2	
3	

4. 町内会をはじめとした地域住民組織や団体についてお聞きします。

問14 丹後町で活動している下記団体について、活動内容を知っている団体の番号に○をつけて下さい。(知っている団体、すべてに○)

また、各団体の活動について意見やアドバイスをあれば隣の欄に記入して下さい。

番号	活動団体	団体の活動について意見やアドバイス
1	丹後町区長連絡協議会 (区長会)	
2	丹後町民生児童委員協議会	
3	丹後町交通安全協会	
4	丹後町婦人会	
5	NPO法人 気張るふるさと丹後町 (ささえあい交通・デマンドバス等)	
6	地区公民館	
7	消防団	
8	小学校 PTA	

12

番号	活動団体	団体の活動について意見やアドバイス
9	中学校 PTA	
10	子供会	
11	NPO法人 まちづくりサポート センター(山陰海岸ジオパーク等)	
12	観光協会	
13	社会福祉協議会	
14	老人会	
15	京丹後市体育協会	
16	京丹後市文化協会	
17	宇川アクティブライフハウス (宇川加工所等)	

問15 あなたは、現在、自治会(区)やPTA、消防団などの地域住民組織や団体の行事や活動等に、どの程度参加していますか。(行事にだけでなく団体の打ち合わせや会議を含む・複数の団体を掛け持ちしている場合は、全ての団体活動を合計して1つに○をつける)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に2～3日程度
- 3 週に1日程度
- 4 月に1日程度
- 5 年に数回(数日)程度
- 6 行事や活動には参加していない
- 7 加入していない

問16 あなたは今までに自治会(区)やPTA、消防団など丹後町地区内の組織や団体の役員をしたことはありますか？

- 1 ある
- 2 ない

13

問17 問16で「1 ある」と回答された方にお聞きします。

役員をしていた時のやってよかった点や、活動の問題点、改善点などを
をお聞かせください。

問18 丹後町で、あなたがこれから行ってみたい活動、まちづくりに関わりたい活動、協力できるという活動が以下にありますか？（あてはまるものすべてに○）

- 1 草刈り・海岸清掃・河川清掃・植栽活動などの地域内の美化・環境保全活動
- 2 防災・避難訓練・避難所運営訓練など、消防や防災の活動
- 3 防犯や交通安全に関する活動（登下校の見守り隊を含む）
- 4 秋祭り、市民運動会など、地区住民が集うイベント開催
- 5 地区の伝統文化の継承（三笠亭・神楽・太刀振り等など）
- 6 買物・通院・通学など、移動支援活動
- 7 高齢者の見守り、サロン、弁当宅配など、高齢者の生活支援活動
- 8 敬老会など、高齢者対象の行事・イベント開催
- 9 子ども会など、子ども対象の行事・イベント開催
- 10 幼児児や学童に対する子育て支援活動
- 11 サークル、教室、スポーツなど、生涯学習や健康づくり活動
- 12 農地・山林の荒廃防止、耕作放棄地解消などの活動
- 13 特産品の開発や販売する活動
- 14 地区外の人を呼び込むための観光や体験などの交流活動
- 15 空き家紹介や地区案内など、移住希望者の受入活動
- 16 広報誌などによる地域住民向けの広報や情報の共有
- 17 インターネットなどを活用した広報や情報発信
- 18 特にない
- 19 その他（ ）

14

5. 丹後町の特産品づくりについてお聞きます。

問19 丹後町には特産などの製造・販売・加工をしているところがありますが、

(例) 間人カニ・ちりめん・各種やさい・さかなの加工等) 丹後町の農業・林業・漁業・植物業など産業の担い手が減っています。改善策や提案、アイデア、ご意見などお書きください。

6. 丹後町全般において

問20 ご意見・ご要望・ご提案等ございましたら、なんでもご自由にお書き下さい。

以上で質問は終わります。

たくさん質問にいてねいにお答えいただきありがとうございました。

15

平成30年7月

丹後町区長連絡協議会
丹後町まちづくり準備会